

令和 3 年度における 自主(連合)防災隊の 活動事例紹介



令和 4 年 4 月 2 4 日

令和 4 年度 自主 (連合) 防災隊長会議資料

令和3年度における自主(連合)防災隊の防災活動紹介

目 次

○ブロック塀危険箇所調査	…	高南まちづくり協議会	P 1
○地域防災力向上の取り組み（防災ワークショップ）	…	方丈自主連合防災隊	P 4
○大雨・洪水時のヤマハ発動機(株)袋井南工場への避難	…	田原自主連合防災隊	P 10
○防災からみた自治会活動（アンケート調査）	…	袋井東まちづくり協議会	P 13
○自主防災隊独自で安否確認訓練の実施	…	延久自主防災隊	P 17
○地域防災訓練におけるペット同行避難	…	延久自主防災隊	P 19
★三川地区「安心・安全」ガイド	…	三川まちづくり協議会	P 21
★防災意識アンケート調査	…	三川まちづくり協議会	P 25
★災害時の危険箇所及び避難時リスクの学習	…	三川まちづくり協議会	P 31
☆非常時に活用可能な水源調査	…	笠原まちづくり協議会	P 34
★災害時における要配慮者の避難支援	…	山名まちづくり協議会	P 42
★女性の避難所生活に関する意見交換会	…	月見町自主防災隊	P 47
○ペット同行避難	…	浅羽東自主連合防災隊	P 49
☆津波避難に関するグループワーク	…	浅羽南自主連合防災隊	P 54
○世帯別安否確認カード	…	掛之上自主防災隊	P 61
○防災アンケート	…	掛之上自主防災隊	P 63

☆… 1回目（午前9時00分～）発表事例

★… 2回目（午後1時30分～）発表事例

○…資料紹介

ブロック塀危険箇所調査

高南まちづくり協議会

危険なブロック塀を減らす取り組み

大阪北部地震で小学生が下敷きに！

自治会	危険箇所	
	平成30年	令和2年
柳原	3	6
南町	18	18
小川町	43	4
砂本町	7	6
清水町	24	5
青木第1	0	0
青木第2	3	0
高尾台	0	0

・平成30年8月 公道に面したブロック塀簡易調査を全自治会で実施

・令和元年8月 ブロック塀簡易調査結果配布(3225カ所 全長57Km)

「2m超」「ひび割れ」「傾き」964カ所
内 通学路沿い 955カ所
指定緊急輸送路沿い 123カ所

- ①令和2年度 高南地区ブロック塀現状調査
- ②通学路・避難経路が安全か確認検討
- ③ブロック塀危険箇所地図に落とし込み回覧
- ④該当宅にブロック塀撤去のお願いチラシ配布・他

【調査方法等】 ～ 平成30年8月配付「公道に面したブロック塀簡易調査手順書」(抜粋) ～
◎ 自主防災隊等による目視調査

調査期間 平成30年8月から10月まで

調査範囲 市内全域

調査対象 ブロック塀は、ブロックが積まれていて、高さ60cmを超えるもの
目視による調査

【高さ】 巻き尺等で正確に測量する必要はありません。

・ 高さ60cm超の目安はブロック塀4段積み

・ 高さ2m超は、自分の身長を目安に比べてください。

【ひび割れ】

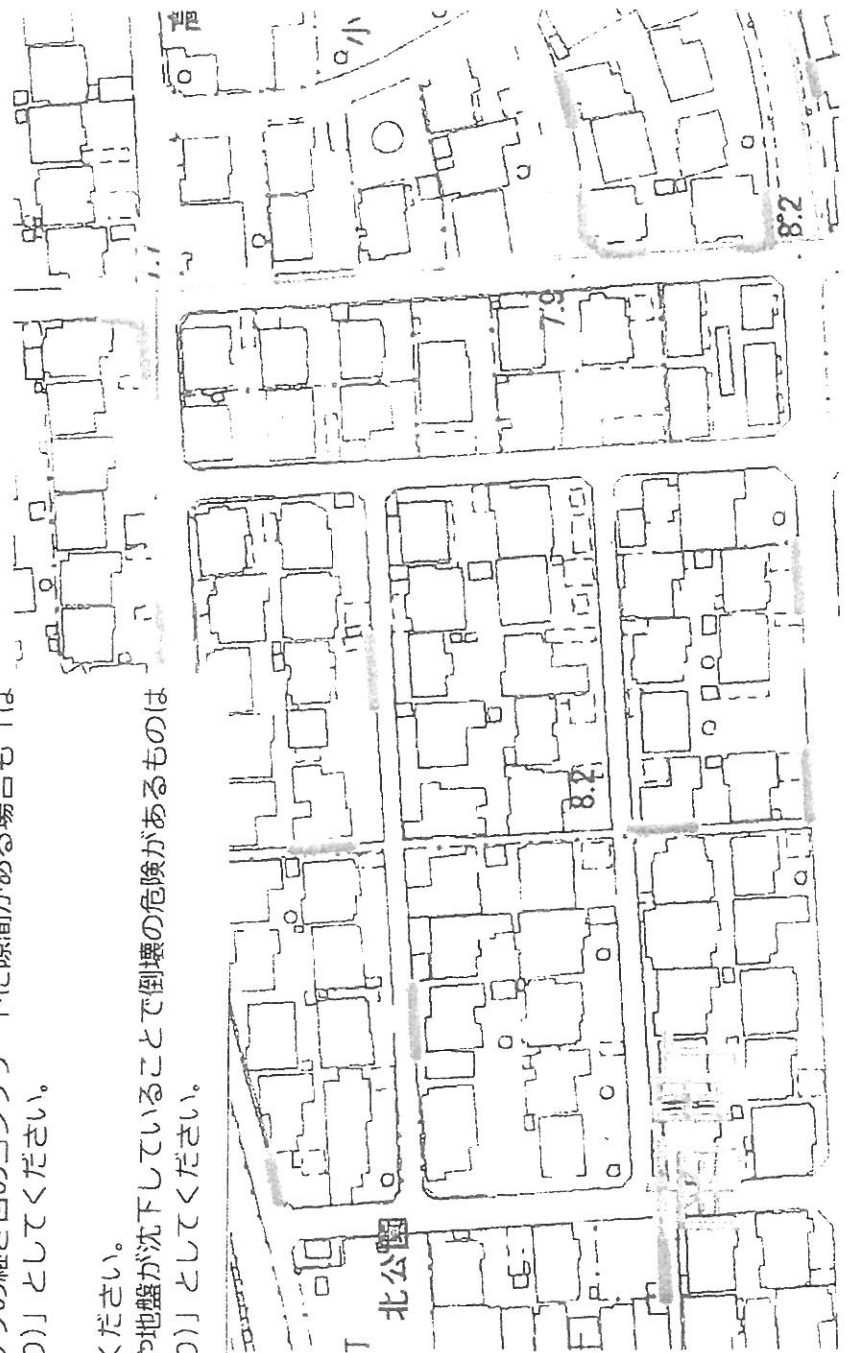
・ 少しでもひび割れがあれば、「はい(ひび割れ有り)」としてください。

・ ブロックとブロックの継ぎ目のコンクリートに隙間がある場合も「はい(ひび割れ有り)」としてください。

【傾き】

・ 目視で判定してください。

・ 傾きがあるものや地盤が沈下していることで倒壊の危険があるものは「はい(傾き有り)」としてください。



地域防災力向上の取り組み

(防災ワークショップ)

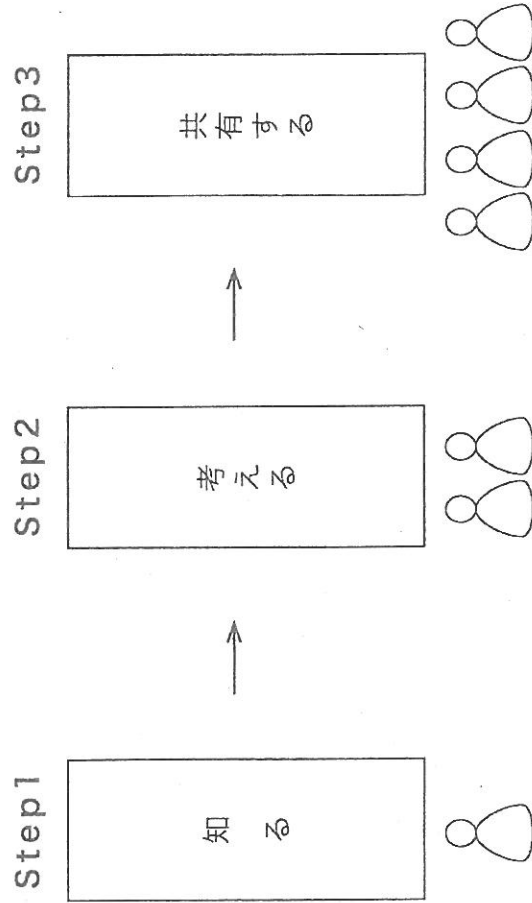
方丈自主連合防災隊

2021年度

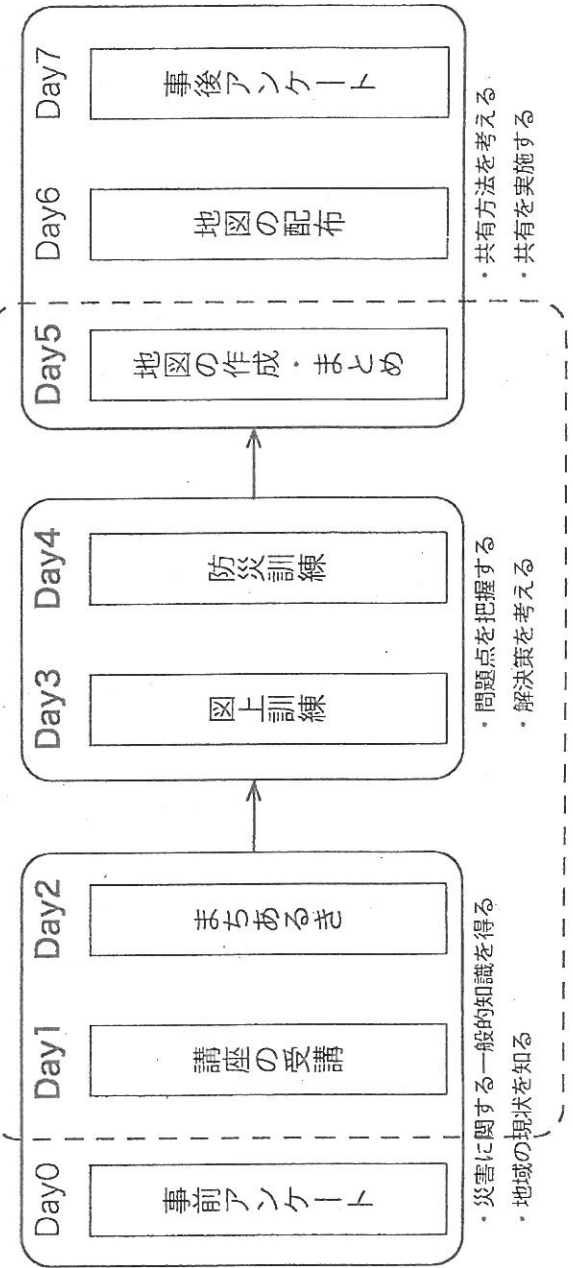
地域防災力向上に向けた取り組み

袋井市方丈地区

静岡理工科大学建築学科
長尾亜子研究室



ワークショップ



「防災ワークショップ」実施報告

方丈自主連合防災隊

1. 実施に至る経緯

令和2年3月末の「方丈自治会連合会」の役員会において、中部電力株式会社静岡支店様から、産学連携の一環として同社が業務委託をした静岡理科大学（建築学科）様との協力事業としての「袋井市における『地域防災力向上に向けた取り組み』」のモデル地区となることの協力依頼を受け、翌年度（令和2年度）に本地区で実施することを決定した。（新型コロナ感染拡大により1年延期となり、令和3年度に実施。）

2. 参加者

本来ならば地域住民全員に参加の呼びかけをすべきところを、新型コロナ感染防止に鑑み自主連合防災隊役員（自治会連合会三役、地区防災指導員、各自治会長、各自主防災隊長、各自主防災隊防災委員、民生・児童委員の延べ32人）のみの参加となった。

3. 実施内容 * 時間は午前10時～12時

- 第1回 6月27日（日） 防災講演会 * 事前に防災に関するアンケートを実施
趣旨説明「地域防災力向上に向けた取り組み」 准教授 長尾亜子先生
講演 ① 「地震と防災を考えよう！」 学科長・教授 丸田 誠 先生
講演 ② 「地震による津波・建物被害とその対策」 准教授 崔 琥 先生
- 第2回 8月 1日（日） 街あるき * 地区内の5自治会を4グループに分けて
実施（以下、同様）
- 第3回 9月26日（日） 課題抽出と解決方法の検討
- 第4回 10月24日（日） 避難所運営ゲーム
- 第5回 11月28日（日） まとめ ～ 「防災マップ」（全戸配布）の作成について

4. 補足事項

- (1) 第1回～第5回の終了後、その都度「防災通信」（大学研究室で作成）を発行してもらい、自治会内で班内回覧した。
- (2)本地区の今回の取り組みは、静岡第一テレビの番組「the NEXT」で取り上げられた。
- (3) 今回の「袋井市における『地域防災力向上に向けた取り組み』」は、本地区以外でも、長溝地区（令和元年度）及び浅名地区（令和3年度）において実施された。

☆ 袋井市消防庁舎・袋井市防災センター

!ZAMAP HOJO

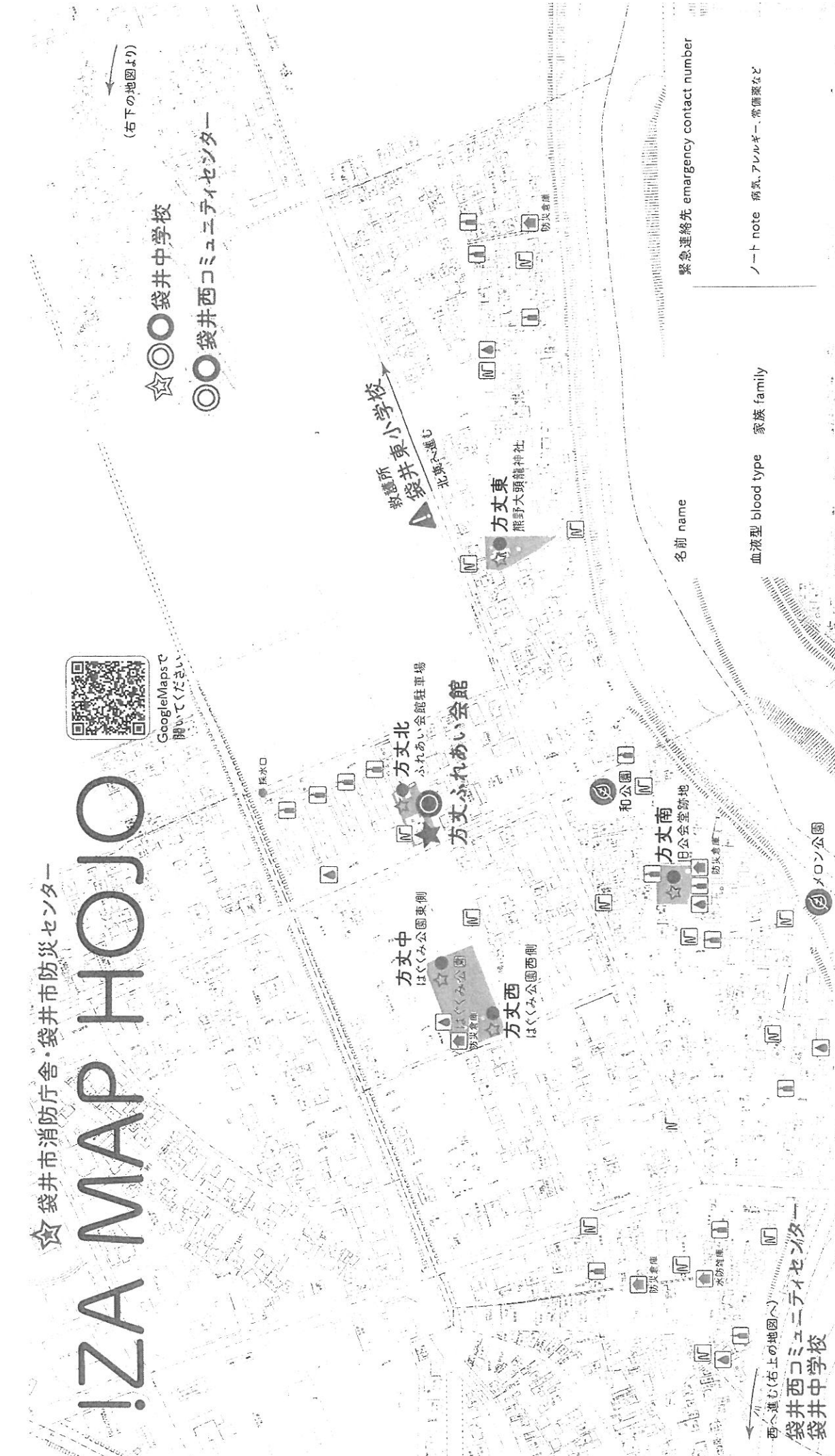


GoogleMapsで
開いてください

☆○○ 袋井中学校

○○ 袋井西コミュニティセンター

(右下の地図より)



袋井市災害対策本部・支部

- ☆ 袋井市災害対策本部 - 袋井消防庁舎・袋井市防災センター
- ☆ 袋井市災害対策支部 - 袋井中学校
- ★ 方丈地区災害対策本部 - 方丈ふれあい会館
- ☆ 自主防災隊本部・自治会単位の集合場所
- ▲ 救護所 - 袋井東小学校

☐ 消火器 ☐ 消火栓 ☐ 防火水槽 ☐ 倉庫

袋井市避難施設

- ◎ 袋井市指定緊急避難場所 - 袋井中学校
洪水(2階以上)、土砂、地震、津波、火事
- 袋井西コミュニティセンター
土砂、地震、津波、火事
- 袋井市指定避難所 - 袋井中学校
- 袋井西コミュニティセンター
- ◎ 方丈地区避難所 - 方丈ふれあい会館
- 自治会単位の集合場所
広場

避難の流れ

- 地震発生
- ↓
- 避難発生
- ↓
- 班単位の集合場所へ
- ↓
- 自治会単位の集合場所(○)へ
- ↓
- 方丈地区の避難場所(◎)へ
- ↓
- 袋井市指定避難場所(●)へ
- ↓
- 袋井市指定避難場所(◎)へ
- ※ 避難者がいる場合、救護所へ



袋井市災害 HP

緊急連絡先 emergency contact number

ノート note 病気、アレルギー、常備薬など

名前 name

血液型 blood type 家族 family

災害伝言ダイヤル:171
災害用伝言板(web171)

URL: <https://www.web171.jp>
web171:QR

※ 災害用伝言板(171)は
災害時のみ伝言の登録
確認ができます。



袋井市危機管理部危機管理課
Tel.0538-86-3701



FUKUROI BOUSAI .COM

号外

号外袋井市方丈地区ワークショップ

アンケート報告

2

ワークショップ終了後 アンケート 1

	全世帯数	配布数	回収数	回答率
取り組み前	811	811? (100%?)	287	35% (35%)
取り組み後		298 (37%)	194	65% (24%)

アンケート
実施率

ワークショップ終了後にアンケートを実施しました。ご協力いただき、ありがとうございました。内容を簡単にご報告いたします。詳しい内容は左下のQRコードでご覧いただけます。

3

今後継続的に
行うべき事項

- ・耐震診断・耐震補強の実施 (震度7の地震に対して)
- ・飲料水・非常食・懐中電灯程度は用意する
- ・地震保険に加入する
- ・伝言ダイヤル171の周知
- ・家電・家具の転倒防止対策の実施
- ・避難場所や経路の熟知

アンケート結果



4

取り組み前・後の アンケート結果のまとめ

- ・チラシの確認・効果：約50%
- ・非常持ち出し品：約10%増
- ・地震保険加入率：約20%増
- ・避難場所・危険個所の把握・支援：約10%増
- ・大型家電・家具の転倒防止：約20%増
- ・災害用伝言ダイヤル171：改善できず

*取り組み前・後の母集団が異なることを考慮した上で、アンケート用紙を配布していない世帯も各アンケートの回答を平均的に同じと考えました。

ご協力ありがとうございました。

- 第一回講演会 6/27
- 第二回まちあるき 8/1
- 第三回図上訓練及び
課題抽出と解決方法 9/26
- 第四回避難所運営ゲーム
10/24
- 第五回まとめ 11/28

大雨・洪水時のヤマハ発動機 (株)袋井南工場への避難

田原自主連合防災隊

田原地区の住民の皆さんへ

大雨や洪水が心配な時、 ヤマハ発動機(株)袋井南工場へ 一時的に自主避難できることになりました！

ヤマハ発動機(株)袋井南工場への自主避難の手順

各世帯

- ・ 警戒レベル3（高齢者等避難）が出て危険な状態だ！
- ・ 警戒レベル3は出ていないが身の危険を感じる！

ポイント①

原則徒歩で避難します（車の場合
は守衛所に受入可能かを確認する）

ポイント②

避難の際は飲食物を含む避難
用品を持参してください

**避難が必要だ！
自主避難だ！**

ポイント③

裏面受付票を記入して持参すると
守衛所での受付がスムーズです

ポイント④

袋井南工場まで安全に避難できそ
うか最終判断をしてください

ヤマハ発動機(株)袋井南工場へ（守衛所 ☎0538-44-2167）

※1 守衛所では受付票への記入が必要です。 ※2 工場て受入できる人数には限りがあります。

絶対覚えてたい防災情報！

警戒レベル4で

危険な
場所から

全員避難！！

警戒レベル

4

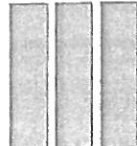


避難指示

安全な場所へ
避難

警戒レベル

3



高齢者等避難

避難に時間か
かる人は避難

警戒レベル

2



大雨・洪水高潮注意報
（気象庁）

避難行動の確認

警戒レベル

1



早期注意情報
（気象庁）

心構えを高める



自宅付近の浸水深を確認！

家族と一緒に 水害から命を守る
行動を確認しましょう！

避難場所

田原地区の皆さんの
大雨や洪水の時の最寄り避難場所は、
袋井中学校と袋井西小学校の2か所です。

避難場所は袋井市の指定避難所ではありません。
事前に親せみや知人宅などを避難場所として想定し、
もしもの時のことを相談しておきましょう。

指定緊急避難場所は、災害時に危険から緊急的に逃れ
る場所で、災害の種類ごとに定められています。

状況	避難行動
◎雨や風が強いとき	避難できる
◎太田川、原野谷川、宇刈川、蟹田川が溢れそうなとき	
	避難できない

- ① 事前に決めておいた安全な場所
 - ② ヤマハ発動機(株)
 - ③ 市指定緊急避難場所
- ① 垂直避難（自宅の2階や屋根など高いところ）
 - ② 移動できる範囲にある高い建物や高い場所

田原自治会連合会

田原自治会連合会避難者受付票

自治会 班

記入日 令和 年 月 日

番号	到着 時間	帰宅 時間	避難者氏名 (Evacuee name) (Nome do Evacuado)	住 所 (Address) (Endereço)	携帯電話 (Mobile phone number) (Número de Telefone celular)
1	18:00	翌6:00	袋井 次郎	袋井市*****番地	090-*****-*****
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					

防災からみた自治会活動 (アンケート調査)

袋井東まちづくり協議会

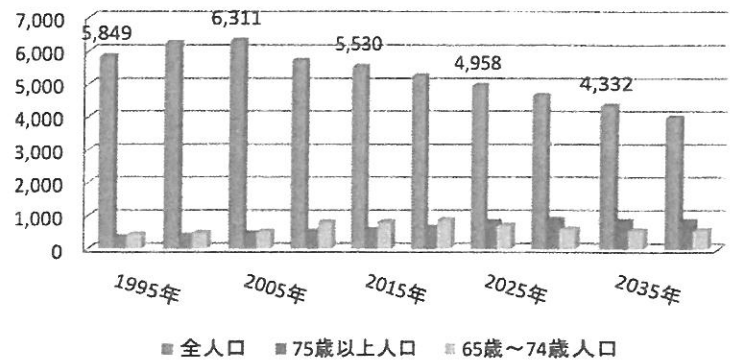
袋井東地区

「防災からみた自治会活動について」

【アンケート結果報告書】



袋井東地区の人口動態



袋井東地区の人口 (2021年11月30日現在)	5,565 人	住民票届け出世帯数	2,306 戸
-----------------------------	---------	-----------	---------

◆袋井東地区の人口等動態実績(1995年～2015年)と予測(2020年～2040年)

	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
全人口	5,849	6,246	6,311	5,716	5,530	5,240	4,958	4,653	4,332	3,986
対1995年比	100.0%	106.8%	107.9%	97.7%	94.5%	89.6%	84.8%	79.6%	74.1%	68.1%
75歳以上人口	349	394	458	517	562	638	816	887	843	843
対全人口比	6.0%	6.3%	7.3%	9.0%	10.2%	12.2%	16.5%	19.1%	19.5%	21.1%
65歳～74歳人口	429	486	524	806	806	881	716	599	562	562
対1995年比	100.0%	113.3%	122.1%	187.9%	187.9%	205.4%	166.9%	139.6%	131.0%	131.0%

(※2015年国勢調査に基づく2019年講演会資料による)

- 全人口は2005年をピークに減り続け、10年毎に約10ポイントずつ減少していくことが予測されています。
- 75歳以上の支援を必要とする住民は、毎年増加傾向にあり、現在では住民の約1割となっており、20年後の2040年には約2割となることが予測されており、東地区の高齢化率が顕著になります。
- また、自治会運営の中心世代ともいえる65～74歳人口は、1995年比では現在をピークに年々減少傾向にあり、今から10年後には実数で約280名も減少することが予測されています。

2022年(令和4年)2月

袋井東地区まちづくり協議会
まちづくりを語る会

【はじめに】

私たち「まちづくりを語る会」は、令和2年4月以来「これからの自治会活動のあり方」をテーマに掲げ協議を続けております。そして、数多くの話し合いを通して「自治会活動のあり方を探る一つのツールとして住民の命を守る防災活動におくことが望ましい」とのことから幅広い年代層の皆様(684名)に、以下の目的でこのアンケートを実施いたしました。

- (1)東地区に居住する皆さんの防災意識、現状の備え、発災時の対応についての現状を知る。
- (2)皆さんの命を守るために自治会組織、活動がどのように関わっているかの現状を知る。
- (3)併せて、今後の自治会活動のあり方等について、広く皆さんのお考えを知る。

実施の結果、依頼者の多くの方々から回答や貴重なご意見をいただきました。これらをもとに、今後の自治会活動が相互に結び付き、東地区の更なる発展につなげていきたいと考えています。

このアンケートを実施するにあたっては、自治会長や自治会役員の方々、そして各種団体の責任者の皆様方には、多大なるご協力をいただきまして、厚く御礼を申し上げます。

【アンケート実施概要】

実施者

袋井東地区まちづくり協議会 まちづくりを語る会
 袋井東一・東二自治会連合会・袋井東地区12自治会
 静岡理工科大学 理工学部 建築学科 石川春乃研究室（協力）

対象者

10代以上の袋井東地区住民

実施方法

自治会内の住民の皆様方には自治会長から、各組織の皆様方にはその責任者、10代の皆様には事務局から依頼と回収をお願いいたしました。回答方法は、紙媒体によるものとWEB入力による方法を併用して行っています。

アンケート実施期間

2021年8月1日 ～ 9月10日

住民アンケート配布・回収数一覧表

配布先	配布数	回収数(筆記分)	回収数(WEB分)	回収数合計
上貫名	40	37	3	40
下貫名	40	39	1	40
新屋	40	33	2	35
久津部西	40	32	8	40
久津部東	40	35	5	40
名栗北原川	40	35	5	40
不入斗	40	35	5	40
菅ヶ谷	40	38	2	40
久津部北	2	2	0	2
村松上	40	37	2	39
村松下	40	40	0	40
村松西	40	39	1	40
小学4-6年PTA	146	98	29	127
スポーツ協会	15	14	1	15
消防団	16	16	0	16
祭り青年	33	23	8	31
民生児童委員	10	8	0	8
10代	19	0	18	18
その他	3	3	0	3
合計	684	564	90	654

回収率：95.6%

いずれも高い回収率を示し、全体として95.6%と極めて高い数値となりました。

【石川春乃先生のコメント】

全国的に急速な高齢化や担い手不足等から、自治会活動が機能しない地域が多くなる一方、近年の甚大な被害を及ぼす自然災害に、自身の身を守る防災意識は広く一般化するほどになりました。地方自治体は『地域防災計画』を策定し、防災活動を自治会組織・自主防災隊が主体となることを前提にしています。果たして、いざという時、自主防災組織は機能するのでしょうか。今までの自治会に違和感を抱きながらも、前例を踏襲し、体制を変えていない自治会が全国でも多いのではないのでしょうか。

小学校を中心とする地域の施設計画、消防団の活動の今後、空き家対策、在留外国人の方々との共生、、、。袋井東地区では、自治会、まちづくり協議会、まちづくりを語る会の皆様が12地区の自治会活動を丁寧に受け継ぎながら、ここ数年集中してこうした目下の課題に対し「これからの自治会活動のあり方」を軸に根本的な議論を重ねてきました。

そして、今回の『防災からみた自治会活動についてのアンケート調査』が行われました。この結果報告書は、袋井東地区の現在の姿です。「いざという時、自分たちが主体的に動く自治会組織」を目指し、防災という軸で「袋井東のこれから」を描く重要な現在地点です。

今回のアンケート結果を拝見しますと、驚異的な回答率、そして沢山の具体的で前向きな意見に驚きます。特に今回導入した web 回答で40代以下の回答が全回答数の半分以上を占めているのも特徴的です。内容からは、袋井東地区の濃い地域活動が現れており、また「今のままでは自主防災組織は機能しない」、「担い手不足で自治会活動が負担」、「いざというとき何をすれば良いかわからない」など、日ごろ自治会活動に参加しにくい方々の声が多く寄せられています。

では、考えてみてください。これからの自治会活動に望む活動として「防災」を選んだ方が7割(Q3-(1))にも上った一方、近所で自力避難をできない人を「良く知らない・いないと思っている」方が7割(Q1-(7))、自分の自治会で災害弱者を守る体制が取られているかが「良く分からない」という方が7割(Q2-(6))です。つまりは、自治会での防災対策が【自分ごと】にはなっていません。自分は「自助」の次に「近助」が重要だとする回答が8割(Q1-(9))なのに、自分が行う「近助」が曖昧であることが分かります。では、皆が【自分ごと】にするには、どうしたら良いのでしょうか。

この結果を受けて、袋井東地区では、具体的に描いたプランを実現させていくことでしょうか。そして数年後、同じ内容のアンケートを行ったとき、住民皆が「自分も参加している」と思える自治会防災組織になっていますように。私ども研究室も微力ながら袋井東チームに貢献できればと思っています。

防災アンケート「アンケートの総括と今後の展開」

袋井東地区まちづくり協議会 会長 山本正昭

平成30年4月に発足した袋井東地区まちづくり協議会は、“地域の課題は地域で”、そのために行政との協働を旗印に数多くの組織を立ち上げ、その実現に邁進して来ました。その中心的な役割を担ったのが「まちづくりを語る会」でした。

本会は初年度に公共施設の更新のための提言をし、次年度には防災等5つのテーマを議論し、いずれも具体化の道筋を付けました。

「これからの自治会のあり方について」。これは遠大でどの様に手を付けて良いか自治会の独立性にも関わる、言わばタブーへの挑戦でもあります。令和2、3年度はこの難題をテーマとしました。その切り口として防災をキーワードに住民の皆様アンケートを実施しました。回収数654件・回収率95.6%は将に驚異的であり、防災への関心の高さがうかがえます。折しも本まちづくり協議会では本年度に住民主導の新防災組織を立ち上げました。このアンケート結果を分析し、これからの自治会は防災とともに、何をなすべきか、検討していくこととなります。

“一人一役全員主役”。これは広島県広陵高校野球部のモットーです。私たちは共に参加し、収穫の果実を得る努力をしなければなりません。道のりは長いかも知れませんがプロセスも大事にし、共に歩んで行きましょう。

結びに本アンケートにご協力いただきました地元の皆様に感謝し、未来への希望としたいと思います。

以上

防災からみた自治会活動についてのアンケート結果報告書

編集・発行

袋井東地区まちづくり協議会 まちづくりを語る会

自主防災隊独自で 安否確認訓練の実施

延久自主防災隊

総合防災訓練（安否確認訓練）実施の御礼 10月1日 配布

令和3年8月29日（日）の「令和3年度総合防災訓練」は、コロナ感染拡大の影響により中止となりました。

防災訓練は中止になりましたが、自治会で全戸に配布して皆さんから提出していただいた「戸別安否確認報告書」を活用したいと思い、延久自主防災隊では自由参加の訓練として予定どおり安否確認訓練を行いました。

自由参加の訓練にもかかわらず、多くの方に参加していただきました。

9月1日の班長会で、皆さんが各班の防災委員に提出していただいた「戸別安否確認報告書」を回収し集計した結果は次のとおりでした。

参加戸数は、

自治会総戸数 202戸 のうち 169戸 の参加

参加人数は、

幼児	29人	小学生	53人
中学生	27人	高校生	15人
大人	460人	安否不明	10人

の 総合計 594人 でした。

この安否確認訓練の結果を、

「自主防災隊別安否確認報告書」

「袋井市総合防災訓練実施結果報告書」

の2枚の報告書を作成して、9月4日に連合防災隊長を通し

袋井市危機管理課災害対策係 に提出しました。

今回の防災訓練では、

「親子で訓練に参加する予定でしたが、中止になって残念です。」

との声も聞きました。

また防災訓練中止にもかかわらず、自由参加ではありますが安否確認訓練に多くの方の参加を得られた事に心より感謝申し上げます。

「自治会の皆さん、訓練への参加、本当にありがとうございました。」

延久自主防災隊長

鈴木 貫司

3.10.15

地域防災訓練における ペット同行避難

延久自主防災隊

12月5日 延久自治会地域防災訓練の様様です。



三川地区「安心・安全」 ガイド

三川まちづくり協議会

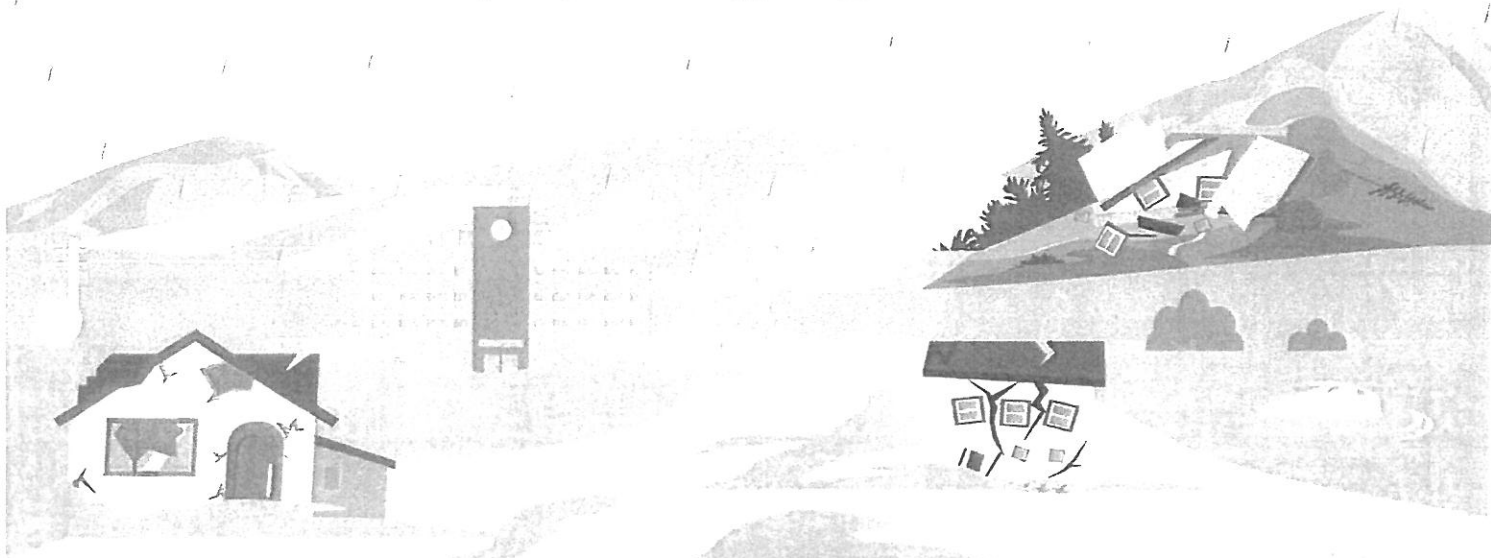
MITSU KAWA AREA



三川地区

災害から自分と家族の命を守るために!

安心・安全 ガイド



周辺の川が決壊しそうなき

自宅の状況を記入しておきましょう!

自宅付近が浸水する深さ

避難する場所【避難できるとき】

避難する場所【逃げ遅れたとき】

m

洪水ハザードマップや
洪水浸水想定区域図は右記からチェック

NHK



ヤフー
防災アプリ
速報



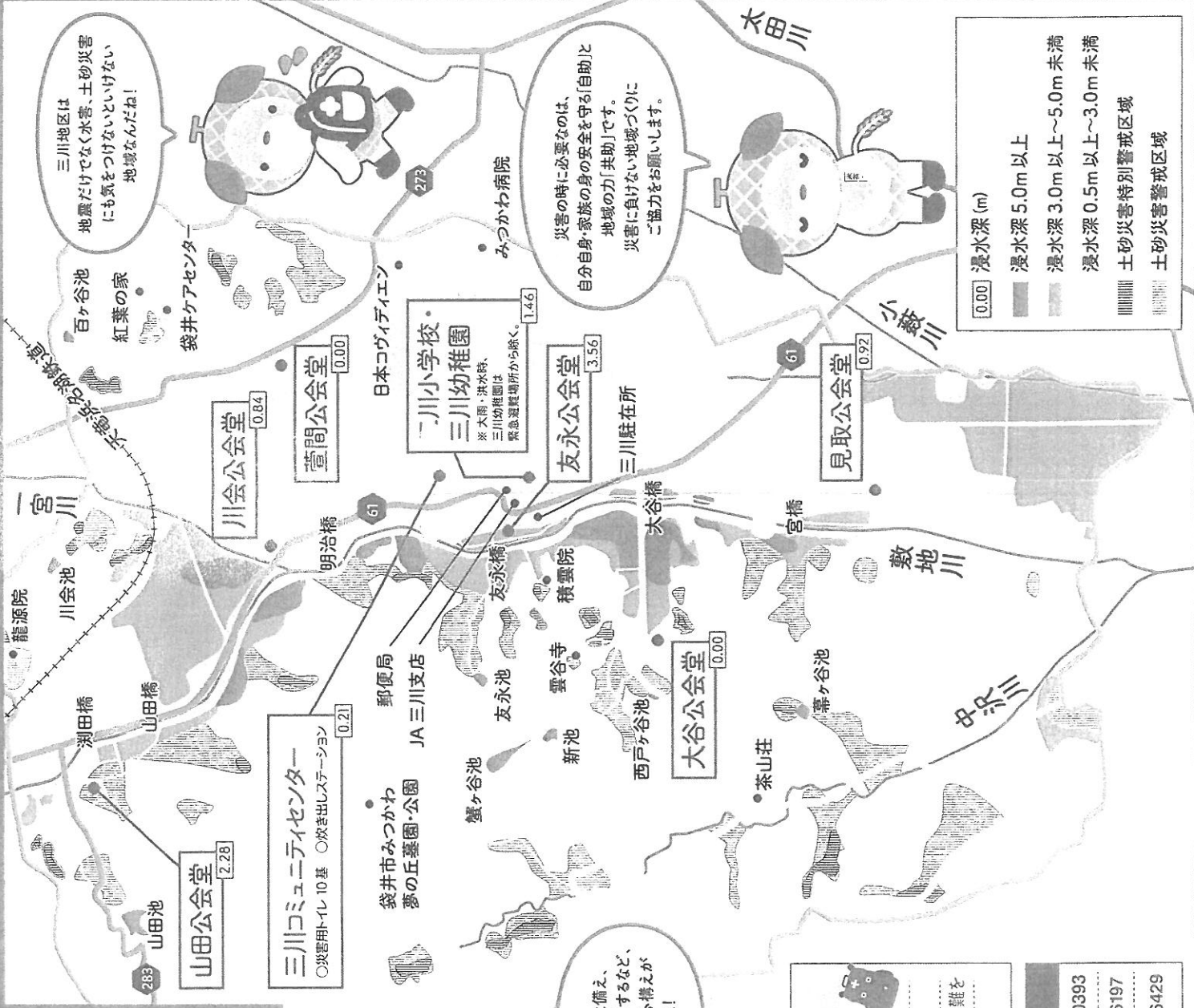
メローネット



三川地区 安心・安全 MAP

□が

袋井市指定の避難所です。



避難時3つの行動パターン

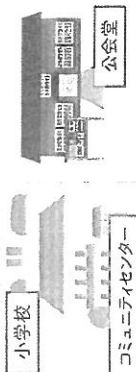
普段からどう行動するか決めておきましょう！

行政が指定した

避難場所への立退き避難

自ら携行するもの

・マスク・常備薬・飲料水 等



安全な親戚・知人宅への

立退き避難

普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。

※ハザードマップで安全かどうかを確認しましょう。







屋内安全確保

ハザードマップで以下の「3つの条件」を確認し自宅においても大丈夫かを確認する必要があります。

- ①家屋倒壊等汎用想定区域に入っていない
- ②浸水部より居室は高い
- ③水がひくまで我慢ができ、水食糧などの備えが十分

作成：令和3年10月
 作成者：三川まちづくり協議会
 三川安心ネットワーク会議

警戒レベル	新たな避難情報等		避難行動
5	 災害発生又は切迫	きんきゅうあんぜんかくほ 緊急安全確保	すでに安全な避難ができず命が危険な状況直ちに避難し安全を確保する
警戒レベル4までに必ず避難!			
4	 災害のおそれ高い	ひなんしじ 避難指示	周囲に注意しながら危険な場所から全員避難を開始
3	 災害のおそれあり	こうれいしゃとうひなん 高齢者等避難	高齢者や不安を感じる人は直ちに避難
2	 気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	川・用水・田んぼに近づかない
1	 今後気象状況悪化のおそれ	早期注意情報(気象庁)	ハザードマップやアプリを確認

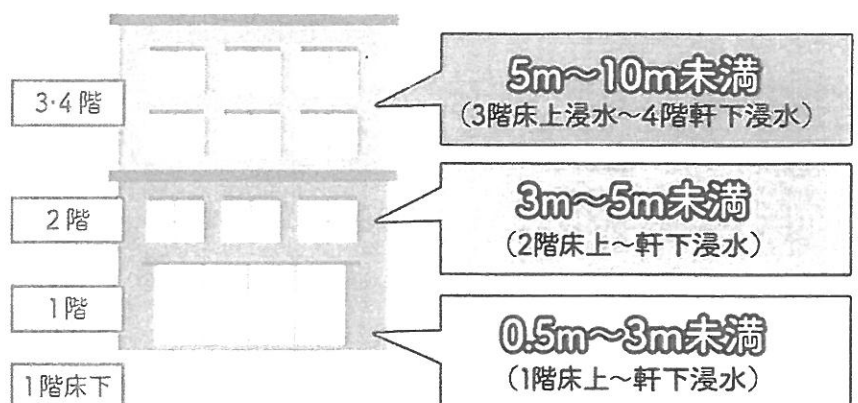
避難情報と避難行動

避難場所	状 況		避難行動	緊急避難場所
	◎雨や風が強いとき	避難できる	①事前に決めておいた知人、親戚宅など安全な場所 ②市指定緊急避難場所	大雨や洪水のときの袋井市指定緊急避難場所 ・三川コミュニティセンター* ・三川小学校* ※2階以上での避難が必要です。
◎周辺の川が溢れそうなき	避難できない	①垂直避難 自宅の2階や屋根など高いところ ②移動できる範囲にある高い建物や高い場所 最悪の場合の想定です。十分な安全が確保できるとは限りません。	地震のときは公会堂など各自治会の避難所	

浸水深

洪水や内水氾濫によって、市街地や家屋、田畑が水で覆われることを浸水(※1)といい、その深さを浸水深といいます。一般の家屋では、浸水深が0.5m未満の場合は床下浸水、0.5m以上になると床上浸水する恐れがあります。

(※1)洪水により、道路や農地が水で覆われることを冠水ということもあります。



防災意識アンケート調査

三川まちづくり協議会

三川地区防災意識アンケート調査結果

自治会

- 1 山田
- 2 川会
- 3 萱間
- 4 友永
- 5 大谷
- 6 見取

回答数
全世帯数
回答率

山田	川会	萱間	友永	大谷	見取	三川全体
92	94	177	83	106	134	686
107	99	205	87	112	153	763
86%	95%	86%	95%	95%	88%	90%

回答者の性別

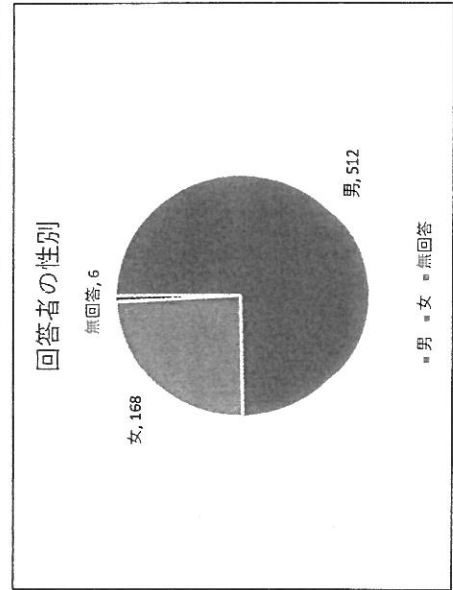
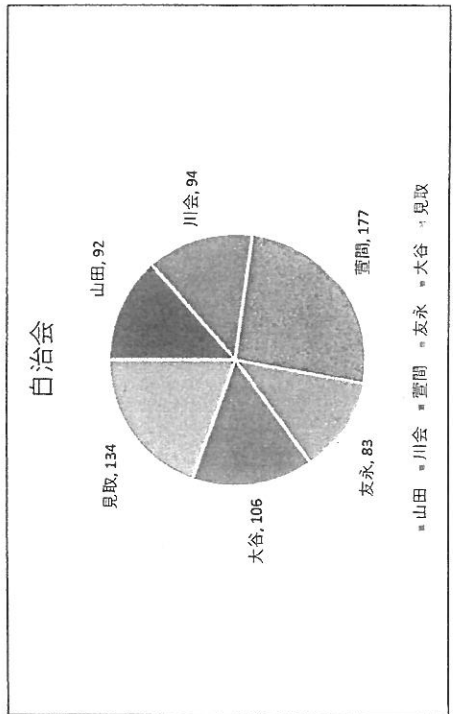
- 1 男
- 2 女
- 3 無回答

山田	川会	萱間	友永	大谷	見取	三川全体
160	74	119	65	87	107	512
231	18	57	18	18	26	168
31	2	1	0	1	1	6

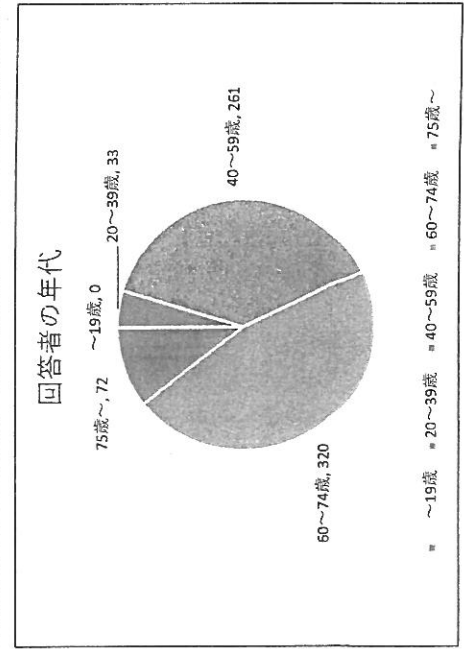
回答者の年代

- 1 ~19歳
- 2 20~39歳
- 3 40~59歳
- 4 60~74歳
- 5 75歳~

山田	川会	萱間	友永	大谷	見取	三川全体
10	0	0	0	0	0	0
2	4	13	5	7	2	33
3	32	81	36	41	48	261
4	56	39	37	51	66	320
5	11	19	5	7	18	72



回答者の性別 男性75% 女性25%



回答者の年代 60~74歳がほぼ半数

一緒に暮らしている方

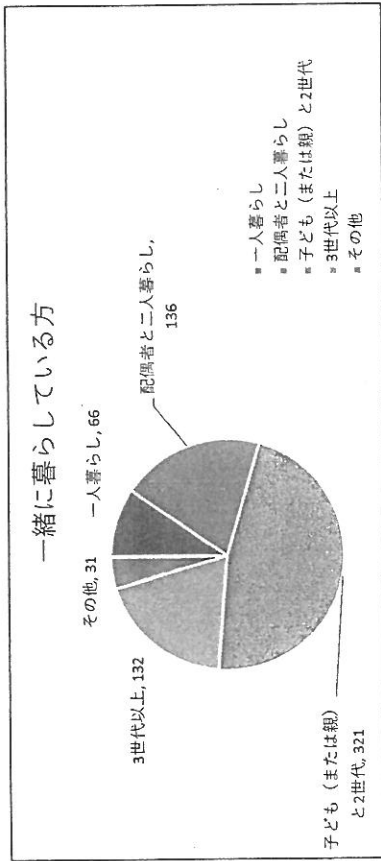
- 1 一人暮らし
- 2 配偶者と二人暮らし
- 3 子ども(または親)と2世代
- 4 3世代以上
- 5 その他

あなた または 同居家族に支援を必要とする方はいますか？

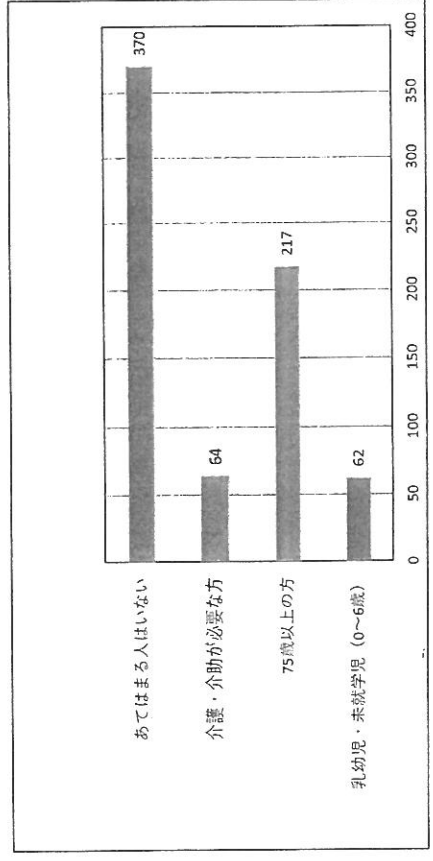
- 1 乳幼児・未就学児(0～6歳)
- 2 75歳以上の方
- 3 介護・介助が必要な方
- 4 あてはまる人はいない

	山田	川会	萱間	友永	大谷	見取	三川全体
1	14	8	19	9	8	8	66
2	14	23	34	13	31	21	136
3	42	39	94	36	47	63	321
4	18	21	20	22	17	34	132
5	4	2	10	3	6	6	31

	山田	川会	萱間	友永	大谷	見取	三川全体
1	7	4	17	7	11	16	62
2	25	36	40	34	32	50	217
3	5	16	9	10	8	16	64
4	55	41	113	39	56	66	370



同居の形態として
 2世代の家庭が約半数
 続いて配偶者との2人暮らしとなっています
 3世代以上がほぼ同数あるのも地域の特徴と言えます



多世代の家庭中に少子高齢世帯が含まれている場合が多いと思われませんが、1人・2人暮らしの中に介護・介助が必要な高齢世帯があることも考慮する必要があるとおもいます

あなたやあなたのご家庭では、災害に備えてどのような準備をしていますか？

複数回答

- 1 停電に対する備えをしている(乾電池・発電機など)
- 2 断水に対する備えをしている(飲料水・トイレ用など)
- 3 浸水に対する備えをしている(土嚢・水中ポンプなど)
- 4 地震に対する備えをしている(家屋倒壊・家具転倒対策など)
- 5 自家用車の燃料が半分以下になれば満タンにするようにしている
- 6 家族の安否確認方法を決めている
- 7 家族の避難する場所や退避ルートを確認している
- 8 自治体等の災害(防災)情報(メローネットや災害アプリ)を利用している
- 9 特に何もしていない

	山田	川会	萱間	友永	大谷	見取	三川全体
1	158	75	118	58	75	91	475
2	157	63	99	53	63	72	407
3	7	12	12	8	7	5	51
4	38	51	84	45	43	48	309
5	40	40	70	36	44	49	279
6	20	24	42	20	21	24	151
7	26	26	41	33	29	24	179
8	38	45	78	44	52	44	301
9	9	8	17	8	9	21	72

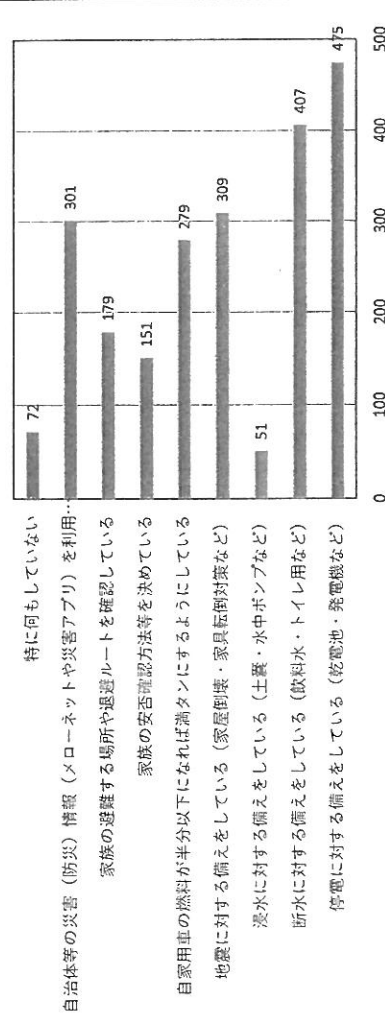
前問で「何もしていない」理由

複数回答

- 1 時間がない・忙しいから
- 2 お金がかかるから
- 3 何をしたらいいかわからない(情報が無い)から
- 4 自分には災害の影響がないと思うから
- 5 無駄になると思うから
- 6 何とかなると思うから
- 7 つい後回しにしてしまっているから
- 8 特に理由はない・わからない

	山田	川会	萱間	友永	大谷	見取	三川全体
1	10	0	3	2	2	3	10
2	1	2	3	0	0	7	13
3	2	4	4	2	1	3	16
4	1	2	2	0	1	0	6
5	0	0	0	0	0	2	2
6	6	1	2	2	3	10	24
7	4	6	8	0	5	8	31
8	2	5	5	4	8	7	31

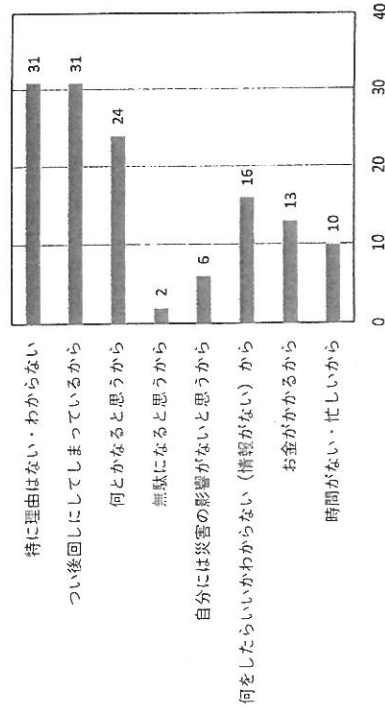
あなたやあなたのご家庭では、災害に備えてどのような準備をしていますか？



停電・断水・地震に対する防災意識は高いと思われ
災害が起こった場合の課題として

洪水への備え・避難方法・何もしていない ガクローズアップ

前問で「何もしていない」理由



全自治会で回答されている

・つい後回し・理由なし・何をすれば？・何とかなる

あなたはこの1年間で、防災訓練に参加しましたか？

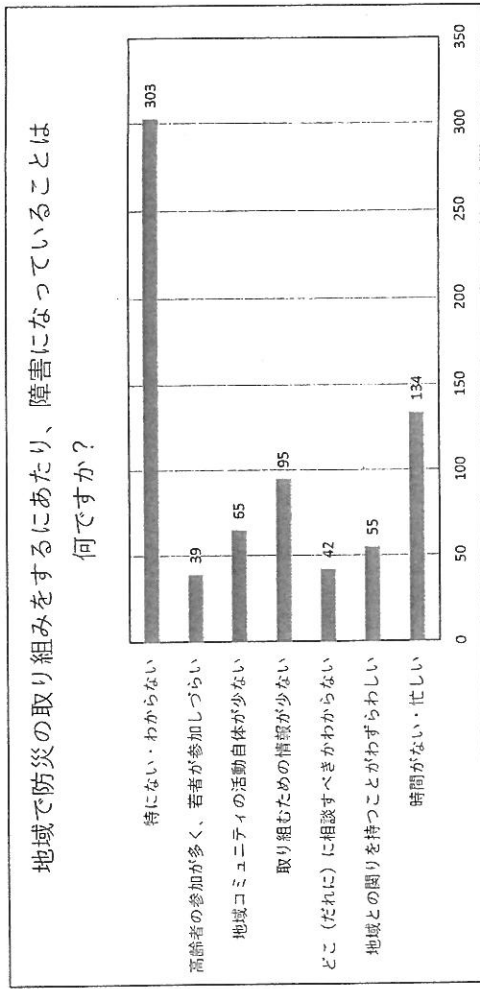
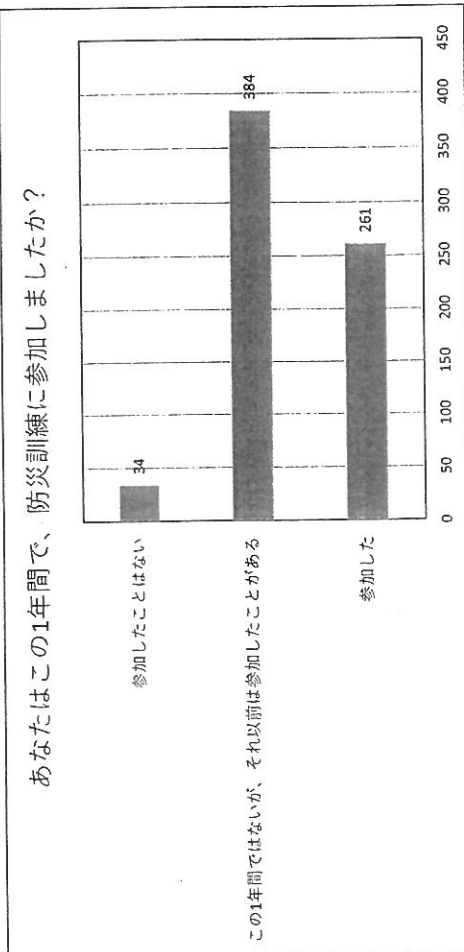
- 1 参加した
- 2 この1年間ではないが、それ以前は参加したことがある
- 3 参加したことはない

地域で防災の取り組みをするにあたり、障害になっていることは何ですか？
複数回答

- 1 時間がない・忙しい
- 2 地域との関わりを持つことがわずらわしい
- 3 どこ(だれに)に相談すべきかわからない
- 4 取り組むための情報が少ない
- 5 地域コミュニティの活動自体が少ない
- 6 高齢者の参加が多く、若者が参加しづらい
- 7 特にない・わからない

	山田	川会	萱間	友永	大谷	見取	三川全体
1	33	37	57	25	55	54	261
2	56	49	107	56	45	71	384
3	4	8	8	2	3	9	34

	山田	川会	萱間	友永	大谷	見取	三川全体
1	12	14	31	12	19	46	134
2	6	5	15	4	8	17	55
3	5	8	10	4	6	9	42
4	16	11	24	9	13	22	95
5	12	10	15	8	8	12	65
6	6	7	7	4	7	8	39
7	41	45	82	46	43	46	303



地域防災に取り組む課題として
「情報発信」「自治会のコミュニティ活動」
「若者が参加しやすい防災活動の工夫」
などを考える必要がある

袋井市配布のホームページでハザードマップの状況
(洪水・ため池・土砂災害など)を公開し、各戸にも配布されています
あなたのお宅での状況を教えてください

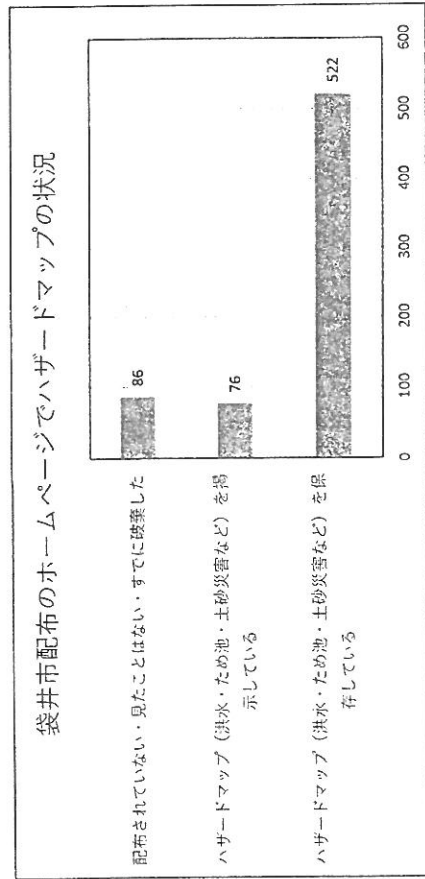
- 1 ハザードマップ(洪水・ため池・土砂災害など)を保存している
- 2 ハザードマップ(洪水・ため池・土砂災害など)を掲示している
- 3 配布されていない、見たことはない、すでに破棄した

あなたは河川の氾濫や土砂災害の恐れがある場合、どこに避難しますか？
複数回答

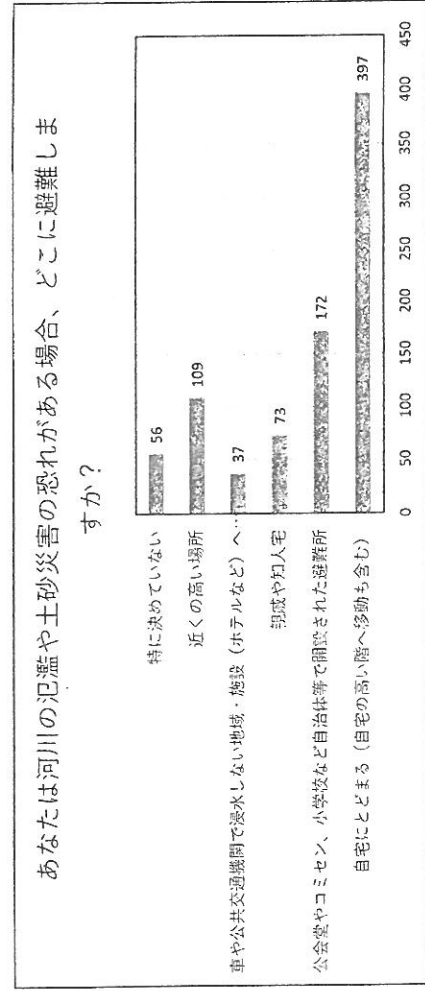
- 1 自宅にとどまる(自宅の高い階へ移動も含む)
- 2 公会堂やコミセン、小学校など自治体等で開設された避難所
- 3 親戚や知人宅
- 4 車や公共交通機関で浸水しない地域・施設(ホテルなど)へ行く
- 5 近くの高い場所
- 6 特に決めていない

	山田	川会	萱間	友永	大谷	見取	三川全体
1	67	79	130	72	88	86	522
2	20	10	11	9	15	11	76
3	5	8	28	3	11	31	86

	山田	川会	萱間	友永	大谷	見取	三川全体
1	61	48	103	51	60	74	397
2	21	24	46	30	25	26	172
3	4	15	23	8	7	16	73
4	6	5	7	0	6	13	37
5	12	29	21	9	14	24	109
6	10	5	17	2	9	13	56



ハザードマップを保存している 76%
ハザードマップを掲示している 11%
ハザードマップに関心がある家庭は87%となる
ハザードマップの内容の周知と全戸配布への対策が必要



避難先として
・自宅へとどまる・近くの高いところ を合わせて70%以上
・指定避難所 は25%
移動のリスクが高い地域であることがわかります
災害への実際の備えとして安全に避難できることを再度検討が必要

災害時の危険箇所及び 避難時リスクの学習

三川まちづくり協議会

令和3年度 三川地区 地域活動実施報告

三川まちづくり協議会 会長 兼子千津子

(三川自治会連合会長)

- 1 地域福祉懇談会 3回実施計画 (1回 5/15 →2回 7/3 →3回 11/6)
コロナ第5波で中止⇒1回に縮小 11/6 実施(テーマ: **地域の支え合い活動**について)

※地域課題⇒**移動手段、見守り、生きがいつくり・居場所づくり、片付け・ゴミ出し
空き家、逃げ遅れ、独居老人**

- 2 高齢者対象「ふれあい研修旅行」4回計画・実施 **コロナ禍の心身の健康維持**
⇒11/25、12/7、12/8、12/9 実施 (浜名湖方面 計43人参加)

- 3 高齢者対象「**地域の支え合い活動 地区別懇談会**」3日間、午前・午後で実施
⇒12/1 山田・友永、12/2 川会・大谷、12/3 萱間・見取公会堂 (計79人参加)

- ① 地域協働運行バス「かわせみ」の利用促進 **通院・買い物支援**

利用希望登録者 93人⇒144人に増加 …運転手確保29人⇒36人

※かわせみボランティア運転手が説明、利用希望者登録

- ② 杏林堂移動販売車「とくし丸」の利用販路拡大 **買い物支援**

利用場所 11箇所⇒22箇所に拡大

※地域福祉推進委員が希望箇所を聴取し、地図に付箋で表示

- ③ 三川地区防災意識アンケート調査結果と三川版「安心安全マップ」の説明

※7/2 萱間 土砂崩れ(9世帯27人に避難指示)・7/3 大谷幕ヶ谷線法面崩落

災害時の危険箇所及び避難時リスクの学習

逃げ遅れゼロの防災対策

※自主防災隊長・自治会長が東南海地震及び七夕豪雨の体験談を聴取し、地図に付箋で表示して今後の避難行動に生かす

↓
12/5 地域防災訓練 感染症対策の避難所運営訓練(女性部)、ペット同伴の避難所運営
三川安心安全マップを活用した中学生災害リスク学習会(30人)

↓
1/28 原子力防災訓練(避難退域時検査場所運営訓練 簡易除染体験) 浜名湖 SA(中止)

↓
小中学生対象の「逃げキット」を使用したマイ・タイムライン作成学習を実施⇒延期
指導: 自主連合防災隊長、支部、指導員、自主防正副隊長、民生・児童、館長、7分団



非常時に活用可能な水源調査

笠原まちづくり協議会

笠原地区の皆様 へ

笠原地区まちづくり協議会
(地域防災対策会議)

非常時に活用可能な水源の調査の結果について (報告)

皆様方におかれましては、日頃より笠原地区のまちづくりに深いご理解とご協力を頂いており、心より感謝申し上げます。

さて、本協議会では、地域の防災対策の一環として想定されている南海トラフ地震などにより上水道が断水した場合に、地域の方々が活用できると思われる水源などを調査しました。調査にご協力を頂いた関係の方々には、厚くお礼申し上げます。お蔭様にて、下記及び別添のとおり調査結果を取りまとめましたので、ご報告申し上げます。なお、活用可能な水源を所有や管理されている皆様におかれましては、非常時の水源活用について、今後ともご協力を頂くようよろしくお願い申し上げます。

記

1 水源の個所数

※ 別添自治会別一覧表を参照願います。

※ 調査依頼にご回答があった個所の集計です。

◇防火用水	33 個所	合計貯水量	1,087 m ³
◇耐震水槽	27 箇所	合計貯水量	1,061 m ³
◇井戸	61 本		(うち深井戸17本)
◇畑かんがいポンプ場	7 箇所	合計貯水量	3,910 m ³
◇その他	4		(湧水、河川、池)
合計	132 個所		

2 結果の活用等

- ・各水源の一覧表、位置図(住宅地図に記載)を各自主防災隊(公会堂)に配布します。
- ・各自主防災隊(自治会)ごとに、地区内で非常時に利用可能な水源を確認して、非常時に備えるようにします。

3 その他

- ・笠原地区には、防火用水や耐震水槽に加えて、非常時に利用可能な井戸などが比較的多いことがわかりましたが、長期の停電や断水に備えて各世帯において飲料水及び非常食などの備蓄を、改めてお願いいたします。
- ・非常時の生活用水の確保のほか地域の防災対策などについて、ご意見やご要望、ご質問がありましたら、下記にお寄せください。

お問合せ先：笠原コミュニティセンター (TEL/FAX 538-23-2283)
ksahara-kou-k@yr.tnc.ne.jp

笠原地区 非常時活用可能水源 個所数

令和3年7月調査

水源区分 自治会	防火用水		耐震水槽		井戸		湧水	河川	池	調整池	その他	合計
	個所数	貯水量 (m ³)	個所数	貯水量 (m ³)	井戸	うち深井戸						
1 五十岡	4	117	3	80	2		1		1	1		12
2 西区	2	48	3	120	13	8						18
3 上区	3	72	2	80	5	3	1			2		13
4 東区	1	40	1	40	8	1						10
5 下区	1	33	1	40	2							4
6 南区	4	269	4	160								8
7 三沢	6	193	8	281	23	2				4		41
8 三輪	9	243	3	180	8	3						20
9 柏木	3	72	2	80				1				6
合計	33	1,087	27	1,061	61	17	2	1	1	7		132

※ 防火用水は、33か所で約1,000m³が貯水されている。送水や運搬が必要であるが、消火やトイレ用水に利用可能。
配置も比較的良好。

※ 耐震水槽は、27か所で約1,000m³が貯水されている。送水や運搬が必要で、浄化が必要と思われるが飲料水をはじめ、消火や洗浄、トイレ用水に利用可能。配置も比較的良好。

※ 井戸は、61本が確認され、西区と三沢に多い。深層地下水をくみ上げる深井戸が17か所あり、発電機などを設置することにより、飲料や洗浄、トイレ用水に利用可能である。

※ 住宅地域から離れているが、畑地灌漑用の加圧機場が7か所あり、最大で合わせて3,910m³が貯水されている。非常時には、消火や雑用水として利用できると思われる。

概要

**笠原地区非常時活用可能
水源位置図等**

令和3年(2021年)7月調査

保存版

※位置図を括在中

**笠原地区まちづくり協議会
(笠原地域防災対策会議)**

笠原地区非常時活用可能水源

位置図

消防 水利	自然水利
	●一般防火水槽
	●耐震防火水槽
井戸等	●消火栓
	●井戸、湧水、河川 機場

令和3年7月調査

笠原地区まちづくり協議会
(笠原地区防災対策会議)

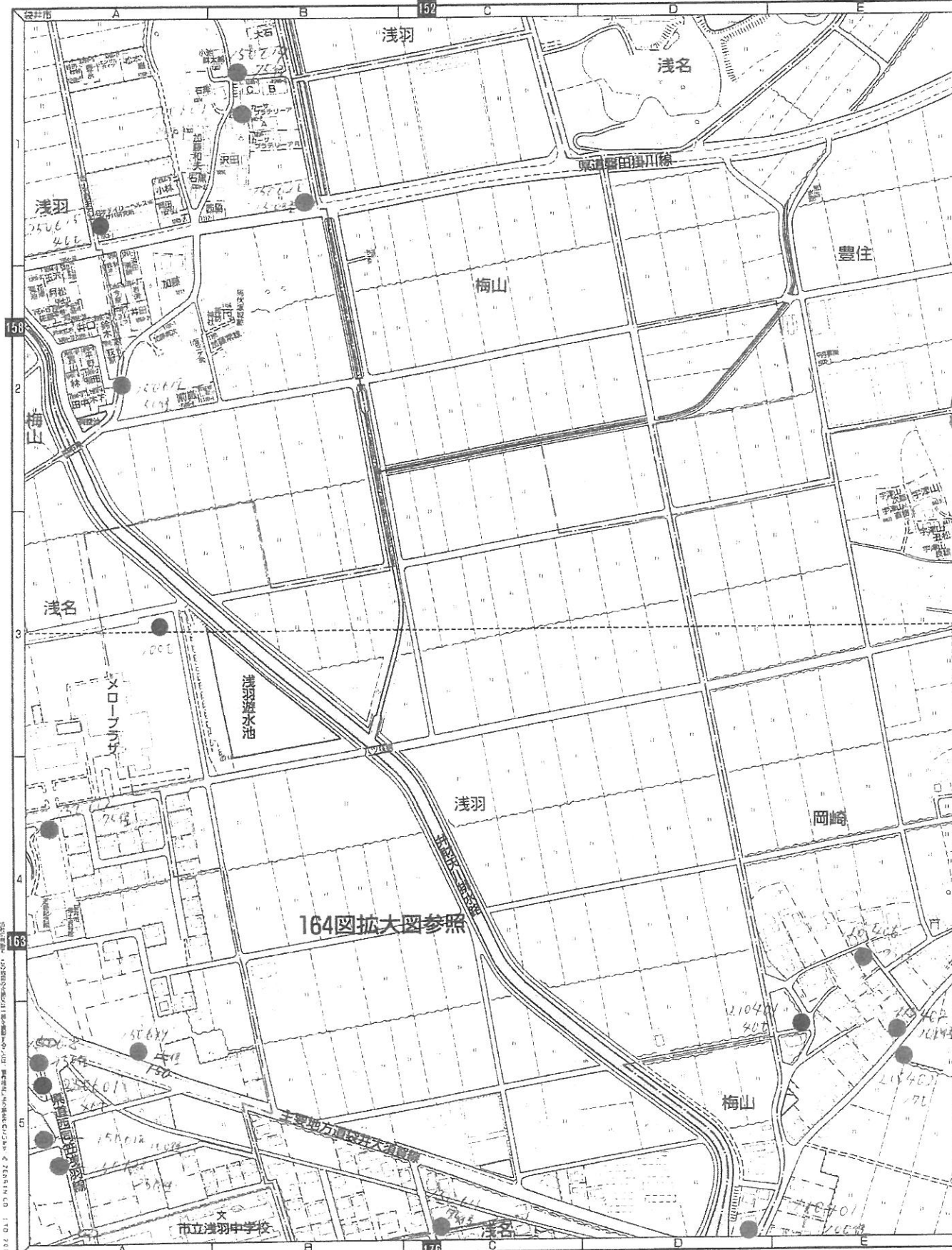
165

株式会社 片桐造園建設
 株主市友永151-3 ☎(0538)48-7884
 (FAX)48-6275

各種基礎工事一式
市川石材店
 株主市月丸町八丁目
 ☎48-7973 (FAX)48-7913

機械・工具の総合商社
株式会社 佐野
 株主市川井86974
 TEL(0538)42-2156(FAX)0538)42-9885

アール総合設計
 〒437-0015 静岡県袋井市旭町2-10-12
 TEL:0538(42)1813 FAX:0538(42)8895



信頼の実績とサービスにします
寺田建築
 株主市山科3623-1 ☎0538-43-0007

機械・工具、資材、住設、建材、太陽・風発電
丸尾興商株式会社
<http://maruo.ne.jp> ☎0538-43-3121

イメージをかたちに信頼の技術で設計・施工
鈴木工務店
 株主市高尾町9-30 ☎0538-23-2161(FAX)23-6154

ゼンリン住宅地図特約店
帝国地図
 株主市高尾町9-30 ☎(0538)43-3320

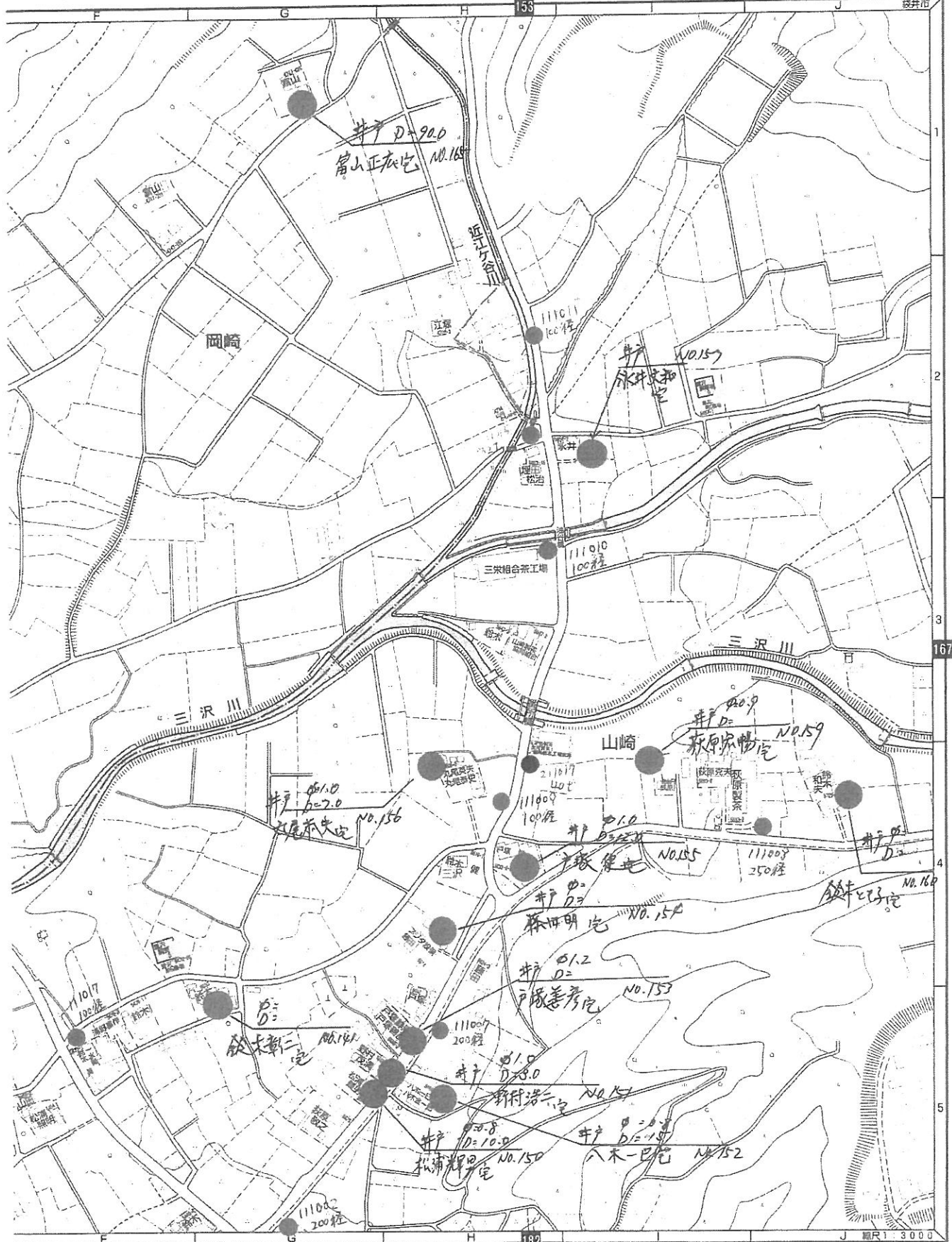
屋根・外壁塗装・防水工事
(有)サトウ建装
 〒437-0125 袋井市上山型2-3-2
 Tel: 0538(48)8216/Fax: 0538(48)8939

粗大ごみ・家電・多量ごみ
 真正・優良な **(株)袋井清掃**
 袋井市黒沢1914 電話 0538-43-2518

貸付・売買アパート
遠鉄の不動産
 袋井店 袋井市高尾町6-19
 ☎0538(43)8700

お墓造りの半額(送相学) 仏具・仏具
てらだ石材
 袋井市月見町9-1 ☎0120-486518

152	153	154
165	166	167
177	178	182

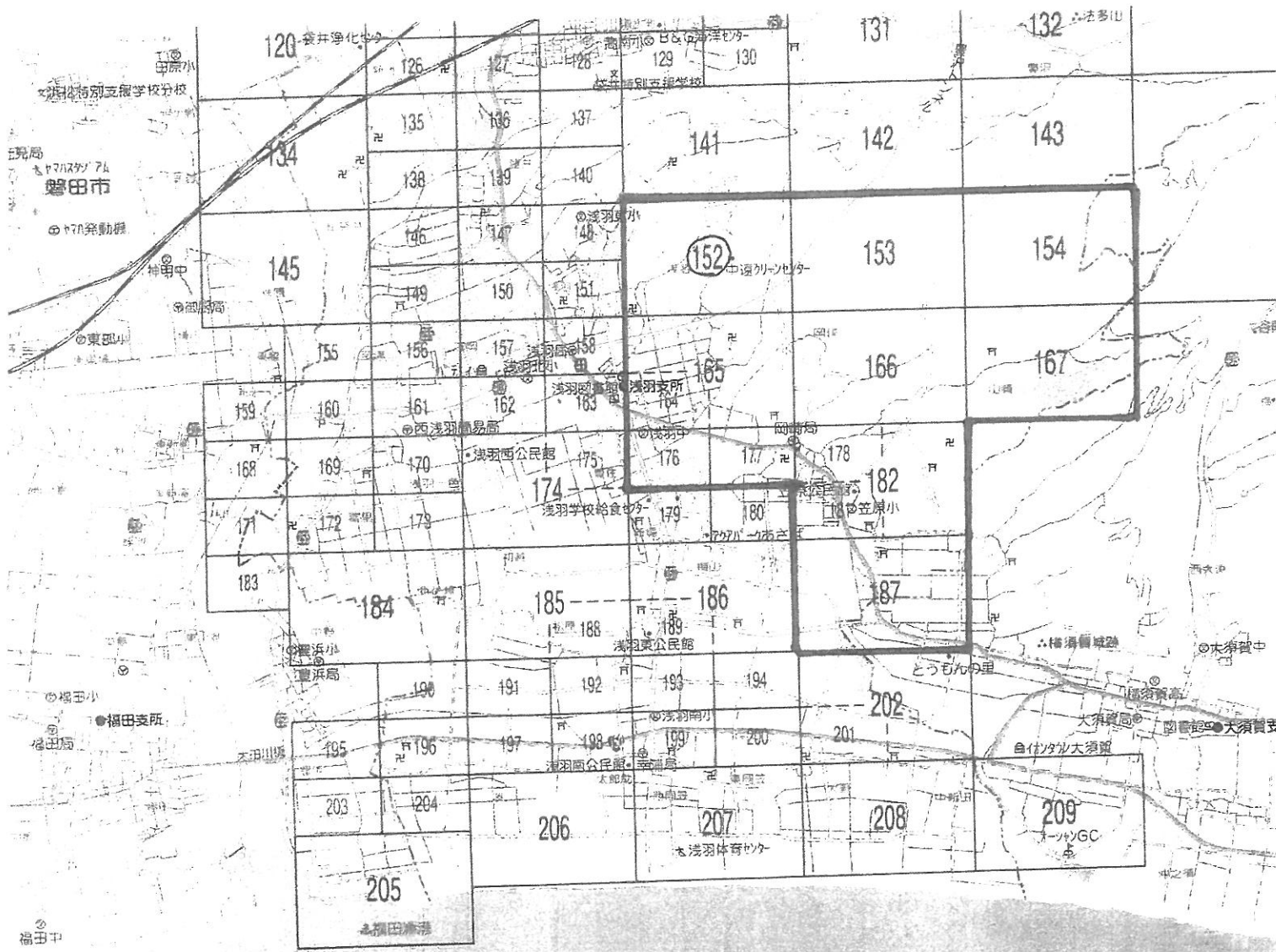


袋井市給水工事業株式会社
有限会社 ウノ設備
 袋井市久間 1629-22
 Tel: 0538(42)8423/Fax: 0538(42)9457

街の盛衰を伝えたい、人の心を伝えたい。
 あなたの身近に**(有)山田新聞店**
 袋井市高尾町8-6 ☎42-2347

民間車検工場・各種自動車・販売・修理
(有)袋井モータース
 袋井市黒越3丁目19-7
 TEL 0538-43-3101 FAX 43-3102

石と骨の専門店・石のことなら何でもお任せ下さい
石工 野尻石対
 〒437-0081 袋井市久間2329-14(袋井商業団地)
 TEL 0538-43-7417 FAX 43-7419



遠州灘

災害時における要配慮者の 避難支援

山名まちづくり協議会

(仮) 災害時要配慮者避難支援隊による避難活動の流れ



支援活動の方法

1 活動開始時期

活動の開始は、自治会連合会長からの活動開始の指示を受け活動を開始することを基本とするが、避難情報が発令された場合には、自治会長の判断により自治会連合会長からの指示を受ける前に活動できるものとする。

2 避難支援の対象者

- (1) 袋井市災害時避難行動要支援者計画（個別計画）に基づく避難要支援対象者及び自治会で作成した「(仮)災害時要配慮者避難支援対象者名簿」に掲載された人を対象とする。
- (2) 家族や知人による支援が可能な人は、家族・知人へ連絡をしていただき避難活動を行っていただくことを基本とする。
- (3) 家族・知人等への支援依頼が出来ない人を支援隊による対象者とする。
- (4) 但し、家族・知人への連絡が取れず、支援隊への依頼があった時には、支援対象者とする。
- (5) 名簿に掲載されていない人から、避難支援の要請があった時には、支援が必要な理由を伺い、自治会が支援対象とするか判断を行い、必要な人には支援を行うものとする。

3 気象状況に応じた支援活動

- (1) 避難情報は、避難が可能となる気象状況の時に発令されることが基本であるため、天候が悪化する前に屋外での支援活動を行う。
- (2) 天候が悪化し、屋外活動が危険と判断された時には、屋外活動は避け、電話連絡等により垂直避難（2階などへの避難）など呼びかける。
- (3) 支援隊の安全を第1とした活動を行い、危険が伴う無理な活動は行わない。

(仮) 災害時要配慮者避難支援隊選出方法について

- 1 災害時要配慮者避難支援隊長
 - ・出来るだけ常時活動体制が取れる人が望ましい。
 - ・隊長は1名とする。
 - ・任期は、2年以上が望ましい。
 - ・自治会役員との兼務はできるものとするが、災害発生時の対応を考慮すると自主防災隊長との兼務をしないことが望ましい。

- 2 災害時要配慮者避難支援隊員
 - ・任期は2年以上が望ましい。
 - ・自治会の他の役職と兼務することは可能とする。
 - ・隊員の人数は、予想される要配慮者の人数に応じて自治会ごとに決定する。
 - ・要配慮者の中には女性もいることから、女性の隊員を加えることが望ましい。
 - ・要配慮者への支援は2人以上で1つの班を組織する。

- 3 災害時要配慮者避難支援隊長及び隊員の改選時期
 - ・災害時要配慮者避難支援隊長及び隊員が同時に改選されることを避け、1名以上の経験者が残ることが望ましい。
 - ・毎年4月1日を改選日とする。

<選出人数算出例>

自治会の会員数 200戸(※1)

支援が必要な方の割合(アンケート結果) 21.6% = 約20%(※2)

支援を依頼する方の割合(アンケート結果) 39.8% = 約40%(※3)

注) 近所・自治会へ依頼する方 30.4%、支援者がいない 9.4%

支援隊1班が受持つ支援者人数 4人/1班(※4)

注) 受持ち人数は4人に限らず、自治会で決定することとする。

支援隊1班あたりの人数 2人(※5)

○支援が必要な人数

$200 \text{戸} (\text{※}1) \times 20\% (\text{※}2) \times 40\% (\text{※}3) = 16 \text{人} (\text{※}6)$

○必要な支援隊員の人数

$\frac{16 \text{人} (\text{※}6)}{4 \text{人} (\text{※}4)} \times 2 \text{人} (\text{※}5) = 8 \text{人}$

(仮) 災害時要配慮者避難支援隊の編成

名称	人数	活動内容	名称	班名	避難支援対象者	編成人数	避難支援行動の内容	特記事項
支援隊長	1人	避難支援隊の総括	名称	要支援者避難支援班	袋井市災害時避難行動要支援者計画（個別計画）に基づく避難要支援対象者(注1)（※1）	2～3人	袋井市から作成依頼された要支援者名簿に基づき、個別計画の作成に同意した要支援者を対象として、避難支援活動を行う	袋井市へ提出した個別計画の中で、避難支援者として登録されている人で構成する。
	第1班			要配慮者（※1を除く）の内4人程度を対象	2～3人	要支援者を除いた避難の際に支援を行うことが望ましい方を対象として避難支援活動を行う。	要支援者避難支援班との兼任も可能とする。	
	第2班			要配慮者（※1を除く）の内4人程度を対象	2～3人	要支援者を除いた避難の際に支援を行うことが望ましい方を対象として避難支援活動を行う。	要支援者避難支援班との兼任も可能とする。	
				第〇班	要配慮者（※1を除く）の内4人程度を対象	2～3人	要支援者を除いた避難の際に支援を行うことが望ましい方を対象として避難支援活動を行う。	要支援者避難支援班との兼任も可能とする。

(注1) 避難要支援対象者とは、要配慮者の内、袋井市災害時避難行動要支援者計画の個別計画に掲載されている人をいう。

女性の避難所生活に関する 意見交換会

月見町自主防災隊

令和3年度袋井市地域防災訓練の報告

昨年12月5日に袋井市地域防災訓練が下記スローガンの元実施され、多数の町民の皆様に参加して頂き、ありがとうございました。

訓練スローガン：『自助・共助・近助・公助 地域で考える防災訓練』

今回女性住民の皆様と避難所生活における困り事や要望等について意見交換もさせて頂きましたので、その内容について報告させていただきます。

◇ 令和3年度袋井市男女共同参画セミナー：『女性と防災』をテーマに活動

東日本大震災発生以降避難所や仮設住宅での生活における課題等調査を行う中で災害時における女性のニーズも掘り起こして支援を行う必要があると考えています。東日本大震災では宮城県内3000人の被災地女性対象に調査を行い、様々な課題が見えてきました。

◇ 月見町においても今回女性住民の皆様と意見交換をさせて頂きました。(女性^{のみ}30人)

1) プライバシーがどの程度守られるかが心配

- ・トイレ使用時
- ・着替えの時
- ・長期避難生活の時に子供達が勉強できるスペースが欲しい

・大人
・高校生
・中学生

2) その他

- ・下着類を備えて欲しい
- ・衛生用品を備えて欲しい
- ・トイレ用の消臭スプレーを置いて欲しい
- ・同報無線が聞き取り難い(周囲の雑音や風向き等にもよる)
- ・各支部の避難所がどのように設営されるのか知らない
- ・以前山名コミュニティセンターに避難した際に、対応が悪く感じられた

ペット同行避難

浅羽東自主連合防災隊

あなたが生後91日以上の子犬を飼い始めたら…



登録と狂犬病予防注射をしましょう!!

犬の飼い主さんの義務



犬を飼い始めてから、
30日以内にお住まいの市役所
(町役場)に飼い犬を登録すること。

犬の登録は、一生に一回です。



飼い犬に年1回の
狂犬病予防注射を受けさせること。

予防注射は、毎年、4月から6月にかけて各
地区で実施される集合注射会場か、お近くの動
物病院で受けられます。



飼い犬に鑑札と
注射済票を装着すること。

登録時に交付される鑑札は、狂犬病予防
注射済票とともに、必ず犬の首輪につけてく
ださい。万一、迷子になって保護されたとき
には犬の迷子札としての役割も果たします。



首輪には必ず鑑札と
注射済票を!!



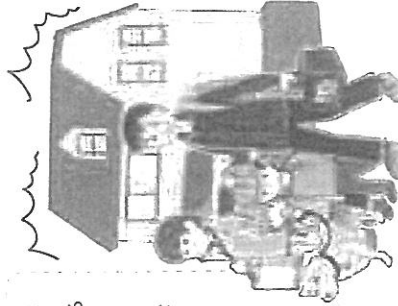
一般社団法人 Shizuoka Animal Care Society
静岡県動物保護協会

災害が起きたら 必ず ペットといっしょに避難

ペットとの同行避難とは？

災害時にペットといっしょに避難することを「同行避難」と言います。同行避難はなぜ大切なのでしょうか。東日本大震災では、ペットといっしょに避難することが周知されていなかったため、ペットと離れ離れになってしまい、その結果多くの放浪するペットが生まれました。今でも飼い主の元に戻れないペットがたくさんいます。この原因には、避難する際に、ペットを家に置いてきてしまったり、途中で迷子になってしまったりしたりしたことがあると言われています。

災害が発生したら、迷わず大切なペットと避難してください。



ペットといっしょに避難をしないと...

迷子に



なってしまう...
被災時の混乱状況では、迷子になってしまうことも...

家に戻れなくなってしまう...

道路の封鎖や避難指示などで家に戻れなくなることがあります。



東日本大震災後、放浪する首輪がついた犬、同行避難をすれば多くは防げたと言われています。

一度はぐれてしまうと、再会は困難。必ずペットと避難しましょう。

○ 備蓄品リスト

- 【優先順位 1】...命や健康に関わるもの
 - 医薬品、薬...災害時には手に入りにくくなります。罹災からゆとりを持って備えておきましょう
 - フード、水...支障物質が溜るまで、5日分以上、できれば7日以上用意しておくようにしましょう
 - 予備の食器、リード (伸びないもの)
 - ガムテープ...ケージの補修など多用途に活用可能です

- 【優先順位 2】...飼い主や動物の情報
 - 動物の写真...迷子になった時に、ポスターを作ったりするのに使えます。断線電話に入れておくのもよいでしょう

- 動物の飼育記録・飼育手帳...かかりつけの動物病院、食事の量や回数やワクチンの接種記録などを記録しておきます。一箇所をお集りする際などに、スムーズに情報が伝えられます

- 【優先順位 3】...ペット用品
 - ペットシート
 - 排泄物の処理用具
 - トイレ用品 (餌の場合は使い慣れたトイレ)
 - タオル、ブラシ
 - おもちゃ
 - 洗濯ネット...餌の固定に使えます



家族で防災会議を

災害が起こった時にどう行動するか、何を準備しておくべきなのか、何回も話し合ってください。家族全員で話し合っておきましょう。また、事前に自治体で避難する際の情報を確認しておき、情報を共有することも大切です。避難経路を確認し防災訓練をしてください、いざという時にスムーズに行動ができます。

例えば

1. 家族の避難場所や集合場所を決める
 2. 避難方法を決める
 3. 何をどれだけ、どこに何を準備するか決める
 4. 子供だけ、ペットだけで留守番をしているときに、近所の方に様子を見てもらえよう。
- 普段からコミュニケーションをとる



ペット用品の備蓄をしましょう

避難所では、ペットのための備蓄がないこともあります。また、救援物資も道路状況などによってはいくらも届かないことも十分考えられますので、準備しておきましょう。特に、薬を使用していたり、療法食が必要な場合は命に関わりますので、必ず備蓄をするようにしてください。

備蓄品は命に関わるものから優先順位をつけて準備してください。チャックシートを用意したので活用してください。

ネットワークを作りましょう

普段から飼い主同士のネットワークを作っておくと、いざという時に助け合うことができます。例えば、一時的にペットを預かってもらったり、情報を共有したりできます。また、あらかじめ地域の行政窓口やペットとの同行避難について確認して、情報を共有しておくといいでしょう。



住まいの防災対策

災害に備え、ひとが安心して暮らせる準備をしておくことが、人の安全だけでなく一緒に住んでいるペットの安全にもつながります。例えば、住まいの耐震強度の確認や、家具の固定、生存空間の確保*をすることが大切です。

*生存空間の確保: 建物や家具が倒壊した時に、人がペットが住まわれる空間が確保できるような、あらかじめ防災家具を設置するなどして、安全な場所を作ること。

ペットの居場所は安全ですか？

- <地震に対して>
- ロックアップのそばや、ガラスの下など、建物が倒壊した際に、ペットが被害を受けやすい場所ですか？
- <水害に対して>
- 増水しても流れない対策がとってありますか？

一般財団法人 ペット災害対策推進協会とは

災害発生時にペットとその飼い主を守るために現地活動支援本部(自治体や地方自治体など)の支援活動を行う団体です。都道府県や関係団体、親睦会と連携し、迅速な支援を行います。

一般財団法人

一般財団法人 ペット災害対策推進協会

〒133-0056 東京都江戸川区南小岩 6-28-14 杉本ビル4階
TEL/FAX: 03-6380-5717 平日の10:00 ~ 17:00
(災害発生時には常時対応できる体制を確保)
<https://doubutsukyuen.org/>



災害が起きたら

ペットといっしょに避難

もしも災害が発生したら、必ずペットと避難するようにしてください。いっしょに避難をしないと、大切なペットと離れ離れになってしまうかもしれません。ペットとの同行避難で、ペットと安全に避難しましょう。

まずは人の身の安全を確保 ~人が無事だからペットの命を守れます~

自分の身の安全をまず確保しましょう。災害時にペットを守るためには、飼い主が無事であることが大切です。

突然の災害で、ペットもパニックになりいつもの違う行動をとることがあります。興奮しているペットに吸まれたりしないように気をつけてください。飼い主が動揺しているとペットにも伝わりまします。落ち着いて、普段通りの言葉をかけるなど、ペットを落ち着かせるように努めてください。

ペットといっしょに避難場所へ

避難の指示があった時には、ペットを連れて避難します。倒壊した建物や切れた電線など、避難場所までの経路には危険箇所がたくさんあります。足元や頭上に気を配り、落ち着いて行動しましょう。自治体が公表しているハザードマップを活用するなどして、避難場所までの安全な経路を確認しておくことで良いでしょう。

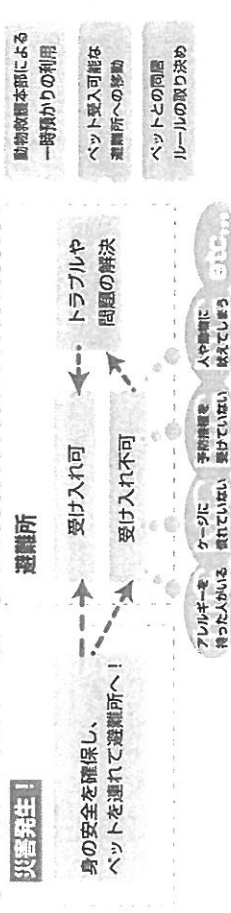
普段と違う状況にペットも興奮していますから、リードはしっかりと持ち、ケージはしっかりと抱えて、ペットの安全にも気を配りましょう。

スムーズに避難所に入るには

日頃からどれだけ準備ができていられるかで、スムーズに避難所へ入れるかが決まることがあります。ペットの受け入れが拒否される理由は、必要なワクチン接種を受けていないか、吠えてしまったり他の避難者から苦情が来たなど、普段からのしつけや準備でクリアできるものばかりです。災害発生に備え、自治体に入られるかが決まることがあります。「受け入れ体制はどうなっているか?」「受け入れる条件はあるのか?」などを確認しておきましょう。

また他の避難者から苦情が来たなど、普段からのしつけや準備

同行避難の流れ



※ペットの受入条件や体制は地域により異なります。事前に自治体に確認しておくことで良いでしょう。

準備が大切!

スムーズな同行避難のために日頃から備えましょう。

ペットとの同行避難のための備えと言っても、特別なことはありません。日頃のしつけや健康管理、所有者明示などを適切に行っておけばスムーズな避難が期待できます。

健康管理をしましょう

避難所では多くの人々が共同生活を送ることになります。慣れない場所ではペットも体調を崩しがちです。普段から健康状態に注意し、ブラッシングで抜け毛をとるなどペットの体を清潔に保ち、予防接種やノミなどの外部寄生虫の駆除をしっかりと行いましょう。狂犬病予防注射済票はつけていると、だれでも注射済みであることがわかります。避難所への入所を断られてしまうこともありますので、必ず付けておきましょう。



しつけはできていますか?

知らない人や他人のペットに吠えてしまうと、他の避難者からの苦情が入所が困難になることもあります。また、避難所ではケージでの生活になることが多いので、ケージに慣れていると避難生活が困難になる場合もあります。「待て」、「ハウス」などができるようになっていることも大切です。



所有者明示をしましょう

ペットの所有者明示は災害発生時に間わず大切です。災害時にはペットが逃げたままだったりして、一度飼い主から離れてしまうと再会が難しいです。首輪に鑑札や狂犬病予防注射済票はもちろん、住所や電話番号を書きおいたり、マイクロチップを入れておくことで再会の可能性はぐんと高まります。過去の災害では、室内飼いの犬や猫でも、災害時にパニックになって開いた扉から逃げたままだったり、倒壊した壁の隙間から外に出て行方不明になった事例が報告されています。首輪を常につけ、あわせてマイクロチップも入れておくことで良いでしょう。

健康管理としつけのポイント

犬の場合

- 「待て」「おすわり」「ふせ」などの基本的なしつけ
- ケージの中に入ることを嫌がらない
- 不必要に吠えない
- 人を怖がったり攻撃的にならない
- 決められた場所での排泄
- 狂犬病予防接種と各種ワクチン接種
- 大フィラリア症など寄生虫の予防・駆除

猫の場合

- ケージやキャリーバッグに入ることを嫌がらない
- 人やほかの動物を怖がらない
- 猫用トイレでの排泄ができる
- 各種ワクチンの接種
- 寄生虫の予防・駆除



所有者明示の方法

犬の場合

鑑札と狂犬病予防注射済票

遺失を懸念した迷子札

首輪

猫の場合

マイクロチップ

遺失を懸念した迷子札

首輪



※犬の鑑札と狂犬病予防注射済票は狂犬病予防法で飼い主に義務付けられています。

津波避難に関する グループワーク

浅羽南自主連合防災隊

浅羽南地域防災会議

～ 津波に対する住民意識高揚のためのグループワーク ～

令和4年2月13日（日）13時30分～

場所：幸浦コミュニティセンター

☆テーマ

1 『幸浦 安全・安心ペナント』の取扱いについて【20分】

- (1) ペナントを使う目的は？
- (2) 家のどこに掲げる？
- (3) 自治会の取り決めはある？
- (4) いつ使う？（津波一時避難場所へ避難する時？指定避難所へ避難する時？）
- (5) ルール作りは？

※関係資料…取扱い方法（浅羽南まちづくり協議会）

◎発表会（5分）※各グループ代表者

2 非常持ち出し品について【20分】

- (1) 自助で何を準備すべき？
- (2) 季節、女性、高齢者、乳幼児、浅羽南地区として備える物は？
- (3) 非常持ち出し品はご自宅のどこに置いてある？
- (4) 何日分用意すべき？

※関係資料…非常持ち出し品リスト

◎発表会（5分）※各グループ代表者

3 津波避難場所・経路、避難方法について【20分】

- (1) 避難経路は把握している？
- (2) 避難方法は徒歩？自転車？

※関係資料…津波一時避難場所、防災避難路マップ

◎発表会（5分）※各グループ代表者

【裏面へ】

☆進行方法

- ① 3 グループに分かれる
 - ② 全体進行がテーマと内容を説明する（進行方法②～⑥の繰り返し）
 - ③ テーマについて個々で検討（2分程度、開始・終了をタイムキーパーが合図）し、考えを付箋に記入する。
 - ④ 各グループでテーマごとに意見交換しながらホワイトボードに貼っていく。（必ず1人1意見以上）
 - ⑤ タイムキーパーは、残り時間8分前を伝え、各グループにまとめを促し、残り時間5分前になったら各グループ代表者に発表をお願いする。
 - ⑥ 出た意見をグループ内でまとめ、グループ代表者1名が全体で発表する
- ※ 発表するグループ代表者1名は、1～5のテーマごとに交代する。

☆その他

- ・ どのような意見でもOKです。できるだけ参加者全員が発言できるようにする
- ・ 自助・共助中心の話し合いとする。公助は要望事項とする。
- ・ 話が脱線しないように、何について話し合っているかテーマを明確にする
- ・ 対話か議論かハッキリさせる

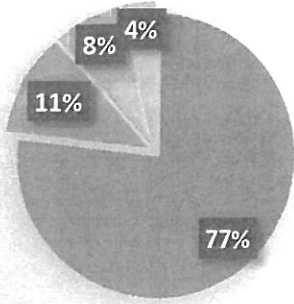
※対話・・・考えを深めたり、気づきを得ることが目的

※議論・・・より良い決定を得ること、合意形成をめざすことが目的

【1テーマ・20分の時間管理】

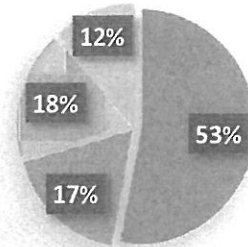
時間経過(分)	内容	担当者
0:00～1:00	② テーマ「 <input type="text"/> 」、内容説明	小杉会長
↳	③ 個別検討開始合図	松下館長
4:00	個別検討終了合図	松下館長
↳	④ グループ内意見交換開始	参加者
12:00	⑤ グループ内意見のまとめ合図	松下館長
15:00	⑥ グループ発表	小杉会長
↳	※グループA→B→Cの順で名簿のとおり	
20:00	意見交換終了、次のテーマへ	小杉会長

1 (1) ペナントを使う目的は？



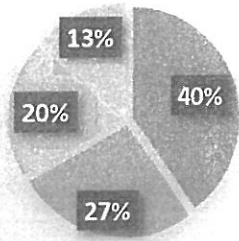
- 安否確認のため
- 救助をしやすくするため
- 訓練時に掲示するため
- わからない

1 (2) ペナントは家のどこにかける？



- 玄関
- 門
- 外から見える所
- ポスト・郵便受け

1 (3) ペナントに関する自治会の 取り決めはある？

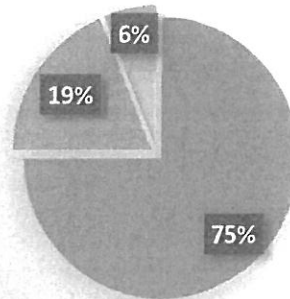


- ない
- ある
- その他
- わからない・知らない

1 (3) その他

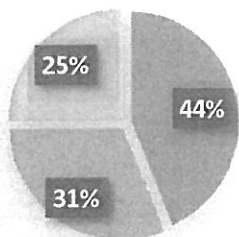
玄関 必ず？
災害時
組長が確認

1 (4) ペナントはいつ使う？



- 避難する時・逃げる時
- 避難訓練の時
- 家に帰ってから

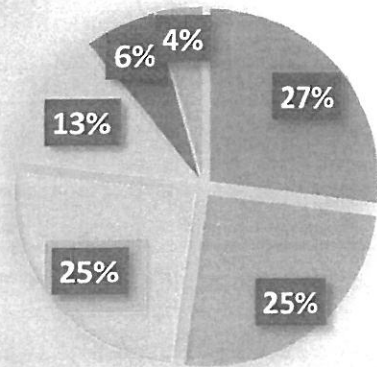
1 (5) ペナントに関するルール作りは ある？



- ない・必要ない
- ない・必要だと思う
- ある・理解している

2 (1) 自助で何を準備すべき？

- 生活用品・貴重品（めがね、ラジオ、懐中電灯、薬、カイロ等）
- 飲料（水等）
- 食料品（菓子パン、缶詰等）
- 衛生用品（トイレ・タオル、着替え等）
- 携帯電話用品
- 家族にとって必要なものを検討



令和4年2月13日（日）

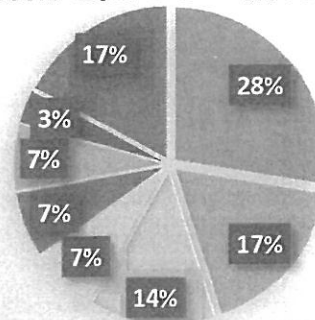
浅羽南地域防災会議

グループワークまとめ

2 (2) その他

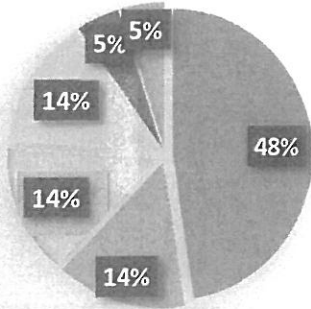
いのち山の上に備蓄する
 その家で必要と思われるもの
 たくさん持っていけないので、考えて準備
 2か月くらいに点検
 性別、年齢により持ち物が違う
 防災弱者を考える

2 (2) 季節、女性、高齢者、乳幼児、浅羽南地区として備えるものは？



- 防寒具（カイロ、毛布等）
- おむつ、ミルク
- トイレ、ペーパー、タオル等
- 女性に必要なもの
- リヤカー
- 水、食料
- 薬
- その他

2 (3) 非常持ち出し品は自宅のどこに置いてある？

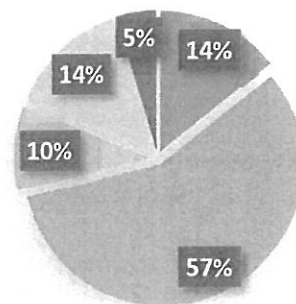


- 玄関
- 倉庫
- 台所
- 自分が分かる場所
- 居間
- その他

2 (3) その他

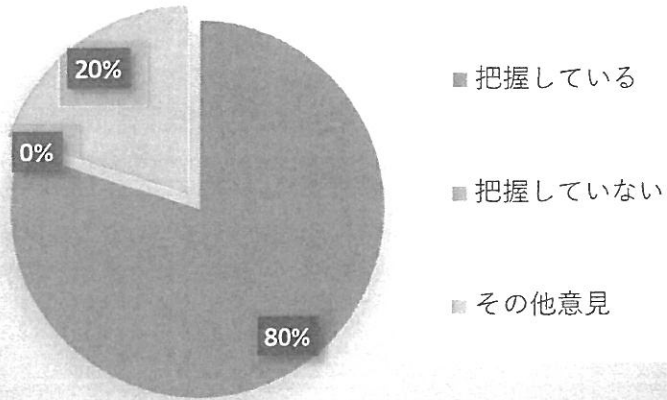
おも家ではなく脇家
 （鉄骨造りの建物）があればそこ

2 (4) 何日分用意すべき？



- 1～2日分
- 2～3日分
- 3～5日分
- 5～1週間
- 1週間以上

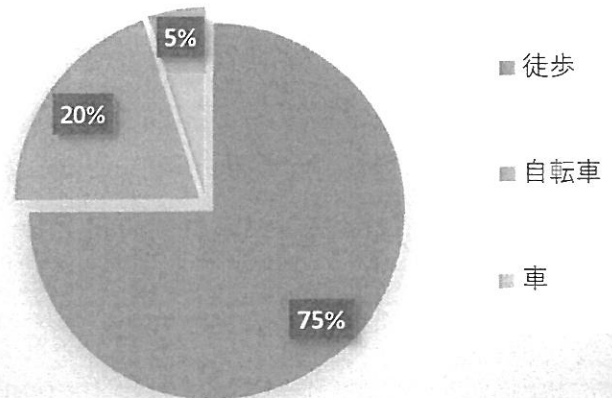
3 (1) 避難経路の把握はしている？



3 (1) その他

- ・避難経路図にないところを通ってる
- ・電柱が倒れるといけないので、2～3の経路を検討しておく
- ・危険箇所 ブロック塀、電柱、住宅チェック必要
- ・津波避難所は訓練では全員命山だが、現実的に南小の方が近いお宅もある

3 (2) 避難方法は徒歩？自転車？





世帯別安否確認カード

掛之上自主防災隊

令和3年12月5日(日曜日)の地域防災訓練について

日ごろ、地域防災につきましてはご理解、ご協力頂き厚くお礼申し上げます。
 今回の防災訓練は、初めての試みとして、世帯別安否確認カードの配布を実施します。



被災時に役立つ、左の写真のような袋をお配りします

中には、

- ①世帯別安否確認カード(5枚)
(被災時には班長等に提出)
 - ②安否確認カードの記載例
 - ③災害用伝言ダイヤルの使い方
 - ④被災時の行動と流れ
 - ⑤自主防災隊任務分担表
 - ⑥班別に変更した自主防災隊編成表
 - ⑦えんぴつ
- が入っています。

※尚、防災アンケート・防災クイズ及び防災訓練等で、非常食をお配りします

(数に限りはありますが)



COCO壱番屋のカレーライス



亀田製菓の梅がゆ



ボロニャ缶パン

防災アンケート

掛之上自主防災隊

防災アンケート（12月5日の防災訓練時）

1 飲料水の備蓄量

おおよそ何リットルの飲料水を備蓄されていますか

リットル ご家族の人数 人

備蓄目安は1人当たり、1日に3ℓで7日分必要のため計21リットルになります

家族分の飲料水は	ある
----------	----

2 食料品の備蓄

おおよそ何食分の食材を備蓄されていますか

食分

食料品の備蓄目安は7日分 4人家族だと84食分

お米だと5kgで66食分のご飯ができます

家族分の食料品は	ある
----------	----

3 簡易トイレありますか（便袋含む）

簡易トイレ	ある
-------	----

4 自動車等から携帯電話に充電できる器具をお持ちですか （もしくは、携帯電話充電可能な自動車ですか）

充電	出来る
----	-----

5 メローねっとは登録済ですか

メローねっと	登録済
--------	-----

6 災害用伝言ダイヤルの使い方を確認したことがありますか （災害用伝言ダイヤル171）

伝言ダイヤル	確認した
--------	------

7 家族で自宅以外の被災時集合場所は決めてありますか

集合場所	決めてある
------	-------

8 家具等の転倒防止はされていますか

転倒防止	実施済
------	-----

9 防災訓練には、ほとんど参加されていますか

防災訓練	参加している
------	--------

アンケートは防災訓練当日、公会堂にお持ちください

回答数合計

班内回覧

防災訓練時のアンケート

先日の防災訓練には、多くの方がご参加いただき、ご協力ありがとうございました。

新しい取り組みが多く、ご参加して頂いた方に、ご説明が行き届いていない場合、今後の防災訓練等で再度ご案内させていただきます。
尚、最近地震が多発しております。もしかの被災時に自治会全体のご協力が肝心です。よろしくお願いいたします。

防災訓練時(12月5日)の防災アンケート結果

※112通回答(75%)ありがとうございました

1	家族分の飲料水の備蓄量ありますか	45%
	(一定の備蓄量あり)	97%
2	家族分の食料品の備蓄量ありますか	60%
	(一定の備蓄量あり)	96%
3	簡易トイレありますか(便袋含む)	63%
4	自動車等から携帯電話に充電できる器具をお持ちですか	60%
5	メローねっとは登録済ですか	57%
6	災害用伝言ダイヤルの使い方を確認したことがありますか	41%
7	家族で自宅以外の被災時集合場所は決めてありますか	51%
8	家具等の転倒防止はされていますか	58%
9	防災訓練には、ほとんど参加されていますか	76%

※家具等の転倒は、怪我の他に火災にも繋がりますので、是非とも実施お願いいたします。

